



## BULLETIN

国際会長 “Be the Light of Hope”

アジア会長 “Be the Light of Hope”

東日本区理事 “Step Forward: For the Future, into the World”

2009.2.15 発行 第2号 通巻35号

### 主題「前へ、明日へ、世界へ」



“Step Forward: For the Future, into the World”

東日本区理事 清水弘一（仙台青葉城）

#### 2008～2009年度の上半期を振り返り

今年度も後半がスタートしました。昨年9月15日にアメリカで発生したリーマン・ブラザーズショックは瞬く間に世界を駆け巡り、経済同時不況の影響は私たち身近なところにまで押し寄せてまいりました。私たちはこれらを地球に生きる人間社会への戒め、警告と受け止め、この現実から逃避することなく、希望を持って、叡智を出し合い、進んでまいりたいと思います。

東日本区は、今年度「2000プロジェクト」が本格的にスタートしました。半年間が過ぎましたが、多くのクラブやメンバーの皆さんにご理解いただき、それぞれの目標に向かって行動されていることに、心からの敬意と感謝を申し上げます。下半期がスタートして1か月が経過しましたが、残りあと5か月、上半期の活動が実を結ぶ時であり、また次年度に向けて、芽を出し、大切に育てる期間でもあります。今後のYMCAを左右する公益法人改革がいよいよスタートし、今こそワイズメンズクラブの存在を、それぞれの活動を通して地域や社会にアピールして行こうではありませんか。さらに、東・西日本区ワイズは2010年横浜国際大会を成功に導かねばなりません。

上半期の主な活動を以下に要約してご報告し、下半期の成果につないていきたいと思っております。

#### 1. 理事重点目標のフォロー

##### \* 中期3か年計画

7月1日現在、1クラブ平均17.3名を3年後には23.3名にしよう。そして、毎年度新クラブを各部1クラブ、3カ年で各部3クラブ、区全体で21の新クラブを誕生させよう。そのためにはクラブ・部の問題点や課題を分析し、3カ年の行動計画を作成し、実施しようと呼びかけました。その結果、今年度後期現勢（2009年1月1日現在）は1,141名（入会者55名、退会者21名）直近34名増の結果となりました。近年にはない増加率ではありますが、更なる奮起を望みます。

##### \* 区2000プロジェクトの推進

今年度、全7部において「部2000プロジェクト委員会」の活動が開始され、区2000委員会の支援体制も固まり、新クラブ設立に向けて小委員会や設立準備会、仮例会などが実施されています。具体的には、札幌新クラブ 東京町田新クラブ 東京銀座クラブ 長野クラブ 清水クラブ、そしてこれからの具体化が期待される地域に、仙台、宇都宮、東京白金、長野諏訪などが挙げられています。

##### \* 思いやりと発想の転換

- ・ 後期現勢では、15名未満クラブは30クラブで、年度当初と変わりませんでした。会員数は8名増となり、10名未満クラブは、1クラブ減少し、10クラブ、会員数は10名増となりました。後半も更なるクラブの活性化に向けて、発想を転換し、ゲストに喜ばれるプログラムの開発、例会の持ち方などを進めてまいりましょう。

- ・「東日本区メネットのつどい」が、11月29日(土)東京YMCAにおいて、68名のメネットの参加で難波田メネットの講演、ミニバザー、国内・国外プロジェクトの紹介など盛り沢山のプログラムがありました。今後、2010年の横浜国際大会へのサポートやこれからのメネット会の在り方などの話し合いが持たれる予定です。

#### \* YMCA との確かな協働を進める

上半期に実施した協働、支援プログラムは次の通りです。

- ・ アジア太平洋 YMCA 同盟ユース会議
- ・ 第21回ユースボランティア・リーダースフォーラムの開催(9月26~28日、富士山YMCA、参加者：リーダー35名、YMCAスタッフ13名、ワイズ関係者50名)
- ・ YMCA 同盟 STEP 研修生への支援と講師派遣
- ・ YMCA ユースファンド(地球市民育成プログラム)への支援

#### \* 社会的な認知度を高める運動

- ・ ほとんどのクラブが、それぞれの地域で努力と工夫を凝らし、CS活動を展開されております。(チャリティラン、バザー、高校女子サッカー、ドッチボール大会、歌声ひろば、スピーチコンテスト、作文コンクール、アースディイン川越、夏のタベ・ビールパーティ、ユニークダンス、紙芝居読み聞かせ会、こども英語パフォコン、ジュニアアートメール展、ユネスコ絵画展など)
- ・ 4年目を迎えました UGP 運動の“Stop HIV/AIDS”については、in 横浜 東新部部会 北海道部(札幌) in 山梨の4カ所で開催されました。
- ・ 今年度 UGP 運動の第2弾というべき国際プログラム、ロールバックマラリア(マラリア半減計画)運動が、昨年10月24日より本年2月28日まで推進中です。東日本区の目標は、600ネット(1ネット約900円)です。引き続き皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。
- ・ 東日本区として初めて環境問題への試みである「環境キックオフキャンペーン」がスタートしました。期間は1月~3月までの3カ月間です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 2. 国際・アジアエリア関係

### \* 第68回国際大会の開催

- ・ 7月31日より8月3日までの4日間、デンマーク・ヘアニングにて国際大会が開催され、参加者数は、42カ国、1,100名、東日本区より74名が参加しました。国際大会に先立ち、ユースコンボケーションが世界各地より84名が参加(東日本区より6名)して開催されました。大会2日目には、東西両区メン・メネット113名が2010年横浜国際大会のアピールを行いました。

### \* IBC 締結が2件行われました。

- ・ 熱海グローリークラブとインド Mylapore クラブ
- ・ 横浜つづきクラブとデンマーク・Randers クラブおよびブルガリア・Plovdiv とトライアングル

### \* 次々期国際会長(2010~2011)に藤井寛敏君(東京江東クラブ)、次期国際議員(2009~2011)に高田一彦君(横浜クラブ)が立候補、見事に当選されました。

### \* 第23回アジア地域大会が、本年7月30日より8月2日まで、スリランカ・コロンボで開催されます。まもなく、本大会とユースコンボケーションの募集が開始されます。

## 3. 2010年横浜国際大会(第69回)の準備状況について

大会準備委員会(藤井委員長)も第6回目まで開催され、実動委員会の動きも活発になってきました。今年1年が大切な準備期間となり、皆さまの更なるご支援とご協力をお願いいたします。

おわりに、部会開催と半年間のご支援に感謝申し上げます。

7部それぞれのアイデアと特徴が表現され、部長の方針が生かされ大いに盛り上がった部会でした。この勢いを後半、部の目標達成に向けて前進し、6月の十勝大会でその成果を披露しましょう。

**“ Step Forward : For the Future, into the World ”**

**RD Koichi Shimizu**

The influence of an economic simultaneous recession that occurred in the United States last year has surged to us.

We pool wisdom getting hopes without escaping from this reality, and will advance in the second Semester.

" Japan East Regional 2000 Project " started in full scale at current year. I wish to express my gratitude and a sincere respect to getting your understanding, and the action toward each target.

I am wishing that it is the second Semester for which each club actively works community service, and appeals YMI to the local community

I have overviewed our work in the first Semester briefly.

1. The following items related to the RD emphasis targets.

\* To execute and achieve the target of Forward plan.

Target:	An average membership of one club	Number of clubs
As of July 1, 2008	17.3	64 clubs
As of July 1, 2011	23.3	85 clubs

I asked for making the analysis of the problem of the club and the action plan of three years. As a result, it became 1,141 memberships as of January 1, 2009, which increased 34 members in the first Semester.

\* To promote “Japan East Regional 2000 Project ”

Active works for establishing new clubs are now going on in all 7 Districts . The preparatory meetings for new club establishment were started in Sapporo, Tokyo-Machida, Tokyo-Ginza, Nagano and Shimizu. Further more, aiming for the establishment of new club in Sendai, Utsunomiya, Tokyo-Shirogane and Suwa, are now actively taken places respectively by their District Project Committees.

\* To convert a way of thinking and to consider each other.

• As of January 1, 2009, the number of less than 10 members club decreased to 10 clubs, but the number of “ Not Good-standing club ” was same. Let's advance together to convert a way of thinking and to consider each other in the second Semester.

• "Regional Joint Meeting of Menette" was held at Tokyo YMCA being attended by 68 Menettes on November 29. A lecture, a mini bazaar, and a program for the promotion of the Int ' l and Domestic Menette Project were performed.

\* To strengthen partnership with YMCA

The support program executed in the first Semester is as follows,

Alliance of Asia Pacific YMCAs youth conference. The 21st YMCA Youth Volunteer Leaders Forum.

The National Council of YMCAs of Japan Step Staff Training. The YMCA Youth Fund.

\* To improve YMI status in local community.

• Most clubs exert all one's ingenuity, and develop various community service with the effort in each local community.

• "Stop! HIV/AIDS" Forum was held in Yokohama, Tokyo, Sapporo and Kofu.

• "Rollback malaria" as the International program has been promoted from October 24 last year to February 28 this year.

• "Environmental awareness campaign" that was the attempt to save energy consumption was kicked off.

The period is three months, January - March. I have asked your cooperation and well understanding.

2. International and Asian area issues

\*The 68th International Convention

• From July 31st to August 3rd, International Convention was held in Herning, Denmark and 74 members from JER participated. We appealed for the IC Yokohama in 2010 on second day. Preceded the convention, Youth Convocation was held with total 84 participants and 6 youth delegates from JER have gained valuable experience.

\*Two IBC relationships were concluded.

• Between Atami-Glory club and Indian Mylapore club

• Triangle IBC among Yokohama Tsuzuki club, Randers club in Denmark, and Plovdiv club in Bulgaria.

\*The 23rd Asia Area Convention will be held from July 30th to August 2nd in Colombo, Sri Lanka.

• I would like to promote a participation of AC.

3. The 69th IC YOKOHAMA preparation

HC (chairperson Mr. Fujii) was organized, and held the committee six times already. A preparation work has become active. It is a very important run up year; I wish your further support and cooperation.

Thanks to the DGs of 7 Districts who successfully led the District Conventions respectively. Let us make use of all those fruitful results for a future development of our movement.

Finally, I wish to express my gratitude for all of your support during the first Semester.

## 北海道部とクラブの働き

北東部部長：中田千鶴 主題：夢は逃げない 逃げるのは自分だ

北海道部評議会・部会は8月30日 午後2時30分～ 45名の参加 札幌北広島クラッセホテル

- 北海道部4クラブの出席義務者34名中、出席20名、委任14名。東日本区からも清水理事、十河書記、菊池会計、漆畑2000プロジェクト委員長他15名の応援出席が。総出席者数は45名。
- 前年度の活動方針、決算を承認。新年度の予算、人事、運動方針を審議、決定。
- 本年度は エイズフォーラム、2000プロジェクトに北海道部全体として取り組むことを確認。
- 2009年の十勝の東日本区大会、2010年の横浜国際大会に北海道部として具体的に全力で支援する。



評議会の北海道部役員

左から高杉次期部長、中田部長、玉池直前部長



部会

### 2000プロジェクト関連

- 北海道部として札幌地区に新クラブ設立を目指して精力的に活動
- 北海道部2000プロジェクト委員会8月30日20名、清水理事、漆畑2000プロジェクト委員長が出席。札幌地区新クラブ設立準備委員会、柴田伸俊君（札幌クラブ）を委員長とする。

第1回札幌地区小委員会 9月24日。出席者8名。札幌クラブ、札幌北クラブ、北海道YMCAより委員が集まり新クラブの基本的コンセプト、呼びかけのターゲットなどを審議。9月25日、10月15日と入会予定者を含めての準備会、懇談会を重ねた。

第2回札幌地区小委員会 10月24日。出席者14名 東日本区清水理事、新入会予定者を招いて開催。ワイズメンズクラブの組織、理念等を説明。今後の具体的な進め方を協議

第3回札幌地区小委員会 11月19日 出席者8名 新クラブのコンセプトを、北海道YMCAのLD児・障害児支援プログラムの指導者育成支援 ベトナム・ワークキャンプなどの海外事業支援の2点にしぼり趣意書を作成することに決定。

第4回札幌地区新クラブ設立小委員会 1月21日 出席8名 委員会が作成した趣意書、YMCA総主事の説明書、発送リスト、勧誘対象各分野の担当者を決定。2月初旬に案内書を発送し、2月28日（土）に北海道YMCAで第1回説明会を開くことを決定。



2000プロジェクト委員会8月30日

### 北海道エイズフォーラム

- 2008年10月26日(日) 札幌市教育文化会館



- 霜山龍志博士をコーディネーターに北海道、札幌市のエイズ行政、医療、ボランティアの専門家4名
- 東日本区からも林茂博事務所副所長が出席し、エイズへのウィズの取り組み、実践を紹介した。
- 会場には市民、学生など60～70名の聴衆が集まり、パネリストの発表の後、熱心な質疑応答が行われた。



フォーラム会場



パネリスト

### 各クラブのトピックス

- 札幌クラブ：4名の新入会員を迎え意気盛ん。5月の「時計台コンサート」の準備に向けて準備中。
- 北見クラブ：例年の「チャリティー・ビール・パーティ」、「オホーツクの鮭販売」を着実にこなし、「チミケップ国際キャンプ場支援」、「地域奉仕」に特化して活躍中。
- 十勝クラブ：恒例の「じゃがいも販売」も好調。6月の「東日本区大会」に向けてクラブの総力を挙げて準備中。さらにこの大会をバネにクラブの増員、活性化を計っている。
- 札幌北クラブ：会員数14名で今期の最大の目標はグッド・スタンディング・クラブへの復帰である。平均年齢が高くなっているため、30～40歳代の入会を目指している。地域の人材を網羅しての毎月の卓話は充実している。さらに例会を楽しく、充実したものにするため様々な工夫をこらしている。第2例回で札幌ドームを訪問しコンサドレーの応援、ビール園での例会等の工夫が実ってグッド・スタンディング復帰を願っている。

第12回東日本区十勝大会をホストする十勝クラブは全部会で大会をアピール



東日本区大会



北海道部部会



北東部部会



関東東部部会



東新部部会



あづさ部部会



湘南・沖縄部部会



富士山部部会

これらの場所以外にも西日本区大会、DBCの京都クラブ等あらゆるところでアピールしました。

## 北東部とクラブの働き

北東部部長：横倉 純 主題：健康土台に 生き生きワイズ

北東部部会は9月6日(土)午後2時~72名の参加 東北学院大学・仙台泉キャンパス

- 第1部 部会
  - ・クラブ会長アピール
  - ・第12回東日本区大会アピール
  - ・横浜国際大会アピール
  - ・東日本区「2000プロジェクト」アピール
  - ・北東部前年度各種表彰
- 第2部 礼拝堂にて「パイプオルガン・ミニコンサート」
- 第3部 懇親会



北東部部会

### 各クラブのトピックス

- 仙台クラブ：アルミ空回収でファンド、60周年、新入会2名
- 宇都宮クラブ：例会はローソクで省エネ、YMCAバザー共催、Y3宇都宮支援と定期合同例会、新入会3名で会員数36名
- 高崎クラブ：17回目を終え定着した、高崎市民クリスマスと県民クリスマス
- 仙台青葉城クラブ：理事ホームクラブとして理事支援、平和七夕、新入会1名
- 足利クラブ：足利YMCAを支援、市民クリスマス
- 会津クラブ：ユニークダンス10/18、ユネスコ児童絵画展表彰状授与12/12、十日市出店1/10
- 那須クラブ：ユースを含む例会とアジア学院収穫感謝祭協賛
- 宇都宮東クラブ：シルバー招待会57名、宇Y老人ホーム「マイホームきよはら」と宇都宮東Yバザーはメインの働き手
- 前橋クラブ：前橋YMCA支援と夏のリーダーの働き慰労会
- もりおかクラブ：出席率向上の対策中



パイプオルガン・ミニコンサート



仙台アルミ缶回収



高崎市民クリスマス



宇都宮はY3宇都宮も例会に

### 2000プロジェクト

活動はこれからだが

- 新クラブ設立委員会は仙台委員会と宇都宮委員会が発足
- 第1回委員会は仙台・宇都宮共に2月7日に開催の予定



仙台青葉城平和七夕



宇都宮東お年寄り招待会



## 関東東部とクラブの働き

関東東部部長：佐野 守 主題：“不可能にチャレンジ”

北東部部会は9月13日(土)85名の参加 ホスト：東京グリーンクラブ ラ・ベルオーラム(上野)

- メインテーマ：「2010年横浜国際大会・準備状況」  
講師：大会実行事務局長田中博之ワイス



部会での部長挨拶



2010 横浜国際大会のアピール

- 同時開催：東日本区メネットアワー 講演「地球環境と私達の暮らし」  
講師・山川文子氏 参加者：45名

### 各クラブのトピックス

- 東京江東クラブ：11月23日、第36回「ワイズカップ」・於海洋大学グラウンド 参加者：父兄含め700名以上児童のサッカー大会で、対象は幼稚園児～小学6年生まで。近隣のサッカークラブや前橋YMCAチームを招いて春と秋に年2回開催。
- 千葉クラブ：YMCAサービスのうち最も力を入れている肢体不自由児のびのびキャンプ(千葉市少年自然の家で)に昨夏もクラブから8名が参加、黄色いシャツで若者を支援しました。他にも十指に余るYサ・C S活動に取り組んでいます。
- 東京グリーンクラブ\*東京北クラブ  
恒例、東京グリーンクラブ・東京北クラブ合同のクリスマス例会  
2008年12月18日(木)浅草ビューホテル(礼拝・祝会)  
参加者：57名  
イベントにジャズライブを入れて和やかにクリスマスを楽しんだ。東京グリーンクラブに1名の入会者があり、清水理事立会で入会式を行った。
- 柏クラブ：2008年「秋の夕べ コンサート」  
フルーツ塩沢かおりさんピアノ鮫島千津(ちづ)さんのお二人の演奏で、秋の夕べの癒しのひとときを、子ども達・3つの幼稚園の先生方他、大勢のゲストの方々と共感した。
- 埼玉クラブ：2008/10/19「浦和フェスタ」  
埼玉YMCAにて開催。多数の児童と父兄が参加。ミニバザー、売店、カレー、手打ちうどんなどを埼玉クラブメンバーも総出でお手伝い。ビンゴの抽選で大歓声があがり、楽しい1日を過ごした。
- 東京ひがし：2008年10月23日で創立20周年を迎えましたが、東日本区大会ホストという大きな役割を果たしたことで、敢えて記念式典などは行わず、25周年に向けて力を蓄えることにいたしました。後半は3カ月連続の合同例会やピースウォークなどのプログラムを楽しみます。



千葉クラブ



東京グリーン入会式

- 川越クラブ：「2008アースディ・イン・川越 立門前」  
2008年11月9日(土) 川越ワイズメンズクラブや埼玉YMCA川越センターが中心となり、約40の団体で実行委員会を組織して、環境と国際をテーマに、「地球人」として世界の人々と共に地球環境を守り、平和と安全な世界を築くことを考えるイベントとして実施された。



柏クラブ



川越クラブ



埼玉クラブ

## 東新部とクラブの働き

東新部部长：堀井 堯 主題：『**広げよう 共に生きる喜びを**』

はじめに

上半期の皆さまのご協力で部内各クラブの活動は活発に進められ喜びにたえません。東新部フレッシュワイズセミナーを下半期に行なう予定です。また、理事主題のもと、部長主題を『**広げよう 共に生きる喜びを**』とし、ワイズダムの目標に向け、共に生きる喜びを共有したいと思っています。

東新部部会は10月4日(土)130名の参加 東京YMCA 社会体育・保育専門学校

- 第1部の礼拝の後、各来賓の挨拶、事業主任のアピール
- 次期東日本区大会、2010年横浜国際大会のアピール
- 2000プロジェクトは漆畑委員長と東新部2000プロジェクト吉田委員から現状報告と今後についてPRがありました。
- 各クラブメネットが作ったケーキをティータイムでいただいた後
- 今回のメインセッションである上村茂仁氏によるUGP:STOP! HIV/AIDS講演会として「若者の性について考える」と題しお話をいただきました。

今回はユースクラブ東京Y-3のメンバーや、東京YMCA南コミュニティセンターのリーダーも参加し、ロールプレーなどを交えながら、最近の若者たちについて大変興味深いお話を聞きました。



部会での部長挨拶



2000プロジェクトのアピール

### 2000プロジェクト

東新部は区2000プロジェクトの呼応した新クラブ設立に向けて奮進中！



- 「町田地域に新クラブ設立を」  
東京まちだクラブと東京コスモスクラブが中心になり7回の準備委員会が開催され、会員登録にサインされた方もおり着々と設立に向け準備が進んでいます。
- 「東京銀座ワイズメンズクラブ仮例会」  
昨年10月から仮例会が行なわれており、設立総会に向け会場、バナーのデザインなどの準備をしています。1月10日(土)東京YMCA 東陽町センターで開催された在京新年会で新入会員の紹介がされました。
- 「東京白金高輪ワイズメンズクラブ仮例会」  
1月17日(土)、第2回目の仮例会が開催され、東京山手クラブ、鈴木功男ワイズのスピーチで「映像 日本ワイズ70年の歩みから学ぶもの」を見ながらワイズ理解を深めました。新メンバー候補者6名+応援団6名、計12名の参加者でした。



町田地域に新クラブ設立を



東京銀座新クラブ会員紹介



東京白金高輪ワイズメンズクラブ仮例会 09年1月17日(土)

#### 各クラブのトピックス

- 江戸城ファミリー・ウォーク(東京)で江戸城回遊
- YMCA ユニークダンスパーティー(東京むかで)11/9、5クラブから参加、ユニークダンス研究会関係、地域関係など70名以上の参加。50回記念で、車椅子ダンスのエキジビション
- ベテランティアフォーラム(東京まちだ、東京コスモス協働)14回生を輩出
- わくわく科学実験教室(東京まちだ、東京コスモス協働)、ボランティア指導で子供達の科学の芽生え育成
- オリーブ映画祭(東京センテニアル)昨年度の第1回オリーブ平和映画祭を開催し、「アルナの子供たち」を上映して好評。本年度はNGO等と第2回開催を企画中
- 「日本・韓国童謡の集い」(東京センテニアル)第1回開催(11/22)。「歌声ひろば」の延長として日・韓および地域の神田女学園箏曲部、コーラス部、ハンドベル、東京韓国オモ二合唱団等との賛助出演で両国の唱歌や童謡名歌を交換合唱して交流
- シャロ・ムの家「歌声ひろば」(毎月第2土曜日、東京まちだ、東京コスモス協働)、11/9に2周年を記念し山下敬二郎氏のチャリティーコンサートを開催、参加140名



江戸城ファミリー・ウォーク



ユニークダンスパーティー



歌声ひろば

## あずさ部とクラブの働き

あずさ部部长：宮内友弥 主題：「おいに語ろう、夢を持って  
- 東日本区 2000 への挑戦に向かって - 」

はじめに

本年度は「東日本区 2000 プロジェクト」スタートの年であり、かつ「2010 年横浜国際大会」に向かって会員全員が一丸となって取り組む重要な 1 年であると位置づけて「会員の増強、組織の拡大」を目指しました。このところ我々を取り巻く経済環境も厳しいものがありますが、目標に向かって力を合わせ邁進したいと思います。9 月 27 日までに全 11 クラブを公式訪問、2 月から 2 回目の不問を予定しています。

あずさ部部会は 9 月 15 日（月・祝）13 時～17 時 99 名の参加 東京 YMCA 医療福祉専門学校

- ホスト：東京武蔵野多摩クラブ
- 第 1 部の開会セレモニーの後の第 2 部はパネルディスカッション  
「おいに語ろう、夢を持って - 東日本区 2000 への挑戦に向かって - 」
- 第 3 部 歌とスピーチ 陣内大蔵氏「僕と歌と教会」
- 第 4 部 懇親会



部会での部長挨拶



2000 プロジェクト・パネルディスカッション

評議会

第 1 回あずさ部「箱根山」評議会 ホスト：東京サンライズクラブ 66 名参加  
日時：2008 年 7 月 19 日（土）11:00～15:00 場所：早稲田奉仕園 日本キリスト教会館  
議事：会計決算承認、決算監査報告、次次期部長クラブ推薦、事業計画承認

2000 プロジェクト

- 長野班 3 回の新クラブ設立準備会を経てマーケティング調査、キーマンとなる人材の推薦人も一通り終えて、設立に向け本格始動を開始
- 諏訪班 12 月 6 日の第 4 回推進会議を「第 1 回新クラブ設立準備会」と位置づけ、今まで訪問し賛同を得た方々を招き新クラブ設立に向け懇談。今後定期的に関催予定

あずさ部 HP の活用

あずさ部ホームページ（トピックスコーナー）に 12 月 20 日より「各クラブ卓話者の一覧表」をアップ。クラブ訪問の機会を増やし、交流を深め活性化を図るためにおおいに活用を。

周年行事

- 松本クラブ創立 25 周年記念式典（08 年 12 月 14 日、於松本市中央天神梅風閣）
- 東京サンライズクラブ 20 周年記念式典:09 年 4 月 25 日予定、霞ヶ関ビル 33 階東海大学校友会

### あずさ夢街道あるき

2006年3月19日第1回新宿～調布を皮切りにスタートした「あずさ夢街道あるき」が2008年12月14日最終点の松本城にゴールイン。合計18回を数えた夢街道あるきの参加者は、全11クラブから延べ358名

### 各クラブのトピックス

- 甲府クラブ：「第2回エイズ文化フォーラム in 山梨」を2008年11月15日山梨県立大学にて開催、参加者200名



第2回エイズ文化フォーラム in 山梨

- 東京山手クラブ：「山手学舎支援ミニコンサート」を開催、参加者93名、支援金100,000円  
大阪茨木クラブと2009年1月12日DBC締結
- 東京西クラブ：「山中湖特別例会」を9月に開催、旧杉並センターOB・OGの家族同伴キャンプに60名が参加、有意義な交流が出来た
- 東京武蔵野多摩クラブ：「YMCA西東京センターファミリー・クリスマス」にてメンバーによるトーンチャイムの演奏
- 松本クラブ：「クラブ創立20周年記念事業」を2008年12月14日に開催、記念例会・アジア賞授与式・記念講演（市民公開講座）に合計150名が参加
- 東京サンライズクラブ：「山中湖センター地域の子供たちのためのクリスマス」を支援  
2009年4月25日(土)13:00より霞ヶ関ビル東海大学交友会館にてクラブ創立20周年記念祝会を開催予定
- 甲府21クラブ：次期あずさ部部長担当クラブとして、その準備と体制づくり。  
2010年クラブ設立20周年への準備
- 東京八王子クラブ：「地雷・クラスター爆弾廃絶のためのチャリティコンサート」は、12回目を迎え今春3月の開催に向け準備中  
台湾高雄港クラブとのIBCを2月締結予定
- 東京たんぼぼYサービスクラブ：「第10回libyチャリティコンサート」を3月7日開催予定。
- 富士五湖クラブ：新CS事業として「地域と障害者とのフライングディスク交流会」を1月31日開催予定  
「第13回東日本区大会」のホストに決定、準備開始
- 東京セントラルクラブ：「liby連続講演会」今年は「教育を考える」をテーマに5月開催予定



## 湘南・沖縄部とクラブの働き

湘南・沖縄部部長：里吉時夫 主題：“力を集めて広げようワイズの輪”

湘南・沖縄部部会は9月27日(土)75名の参加 ホテル・キャメロットジャパン

- 久しぶりに都市型ホテルにおいて開催
- 開催日が他のプログラム重なったが、目標とした会員数の60%以上の参加者を確保
- 2010年横浜国際大会や第12回東日本区十勝大会のアピールも大いに盛り上がった。
- 区役員とほとんど顔を合わせたことのない会員も大いに交流の実をあげることができた。
- 田口努横浜 YMCA 総主事の記念講演で、総主事は YMCA とワイズの関係は夫婦の間柄のようなもの、ユース共々、時に共に喜び、また時に苦しみを分かち合いながら豊かな未来を築いていこうとユーモアを交えながら呼び掛けた。



部会での部長挨拶



部会懇親会

第15回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 8月1日(金)～3日(日) かながわ県民センター

- 入場人員 4,170名 うち、ワイズ関係者32名、入場人員は今までに最も多かった
- 横浜 YMCA 主管、ワイズメンズクラブが主催団体の一つ、東日本区の支援を得て、湘南・沖縄部は全面的協力
- 開催日がデンマークでの国際大会と重なったが、54の分科会・交流会、21の展示ブースで開催され、その関心の深さを示した。
- 3日間にわたる会場ボランティアや横浜 Y-3 のユースが東京 Y-3 と合同で発表した HIV 体験トーク教室などで部の存在感を示すと共に、横浜 YMCA との協働が全面に実った3日間であった。



AIDS 文化フォーラム分科会

YMCA - Y's 協議会

- 横浜 YMCA と横浜など7クラブが3か月に一度の割合で10年ほど前から始めた協議会で、43回を数え、今期は予定どおり2回(9月と12月)開催された。
- 回を重ねるごとに双方の懸案事項と情報交換の場としての重みを増している。
- 最近の協議テーマは、「チャリティーランへの支援体制と問題点」
- 他に、会員スポーツ大会、会員研修会、バザー、うたごえ広場等 YMCA における年間のメインプログラムの実施に際して、双方が事前協議会し、運営し効果を上げている。
- なお、今期初頭には協議会実施要綱を制定し、名実ともに会として、いっそう充実した形態を整えるに至っている。

会員増強および 2000 プロジェクト

- 金沢八景クラブでは 11 月 15 日の例会で一度に 10 名入会の快挙、沖縄那覇クラブに 3 名の入会（2008 年 11 月 28～30 日に沖縄 2 クラブ公式訪問時に入会式に立ち会った。同クラブへの入会は十数年来で、感激はひとしお、更に入会予定がある。）
- 今期、9 クラブ中 6 クラブに新会員が入会し、なお新会員獲得の傾向にある。
- 現時点で部内に新クラブ設立の具体的な胎動は残念ながら見られない。



金沢八景クラブに 10 名の入会



沖縄那覇クラブに 3 名の入会

## 富士山部とクラブの働き

富士山部部長：田辺寛司 主題：「個性を磨こう」

富士山部部会は 9 月 14 日（日）140 名の参加 暖香園（伊東）

- 清水理事自ら区の方針を発表、区の結束を再確認
- 部長方針の「個性を磨こう」も強調
- 部内各クラブの個性的なクラブ活動を



部会での部長挨拶



140 人の部会懇親会

EMC 会員増強に対する各クラブの意識は強い

- 前期 11 名（純増 10 人）の新会員が入会
- 部長として：世界的金融恐慌で、景気後退が深刻な状況の中にも、後期にはこれ以上の会員増強の感触を私自身感じています。悲観的思考で、こんな社会状況だから EMC は難しいと結論づけ、自分が置かれている立場を正当化したい気持ちが頭をかすめますが。清水理事は「前へ、明日へ、世界へ」の主題を掲げ、リーダーシップを発揮しています。2000 という目標は高いかもしれない、しかし前へ、明日へ、と前向きに活動して行けば、「出来るかもしれない」と信じて後期、富士山部を鼓舞してゆきたいと考えています。

新クラブ設立

- 熱海グロリークラブを軸として活動中



部内各クラブは前期、独自の地域奉仕活動、青少年健全育成活動を展開

- 規模、内容において賞讃に値し、ワイズが誇るべき活動
  - ・富士クラブの全国高校女子サッカー大会 8/3-6、48校参加



ロゼシアターでの開会式



優勝旗返還



表彰式

- ・伊東クラブのドッチボール大会



伊東クラブのドッチボール大会



昼食サービス

- 他のクラブもそれぞれ地域奉仕活動、青少年健全育成活動
  - ・熱海クラブの第4回ドッチボール大会は350名
  - ・熱海グローリークラブは学童野球大会で2日間の日程
  - ・下田クラブでは夏休み子供座禅教室を開催し子供達に貴重な体験を与えた。



夏休み子供座禅教室

前期を終わって

地域に密着したこのような活動をする事で各クラブは自クラブの誇りを感じている事と思います。私たち富士山部は地域から喜ばれるワイズならではの活動を模索し、楽しいクラブ作りを目指して活躍することを願っています。

## 地域奉仕事業

地域奉仕事業主任 山田敏明（十勝クラブ）

### 1. 「環境キックオフキャンペーン」、継続中

今年度は初年度ということから、会員が取り組みやすく、日常生活にもっとも身近なエネルギーである電気の省エネを中心に、意識を高く持ちながら取り組んでいただき、ありがとうございます。

「省エネ読本」を全会員に配布していますが、再度これを読んでいただき、例会その他の会で環境問題を取り上げていただき、意識を高めていただきたいと思います。

「省エネ実践チェック表」: これは、6項目の省エネ行動について、1月～3月の各月1週間を、全会員が同時期に意識して取り組んでいただいています。まずは気楽に、日常生活をチェックしてみましょう。目標を半分くらい行った場合の試算は3週間14Kgの炭酸ガス、680円節約です。





電力使用量を、実践の成果として、前年同期間と比較してください。

クラブ各メンバーの、2009年1月分、2月分、3月分と2008年1月分、2月分、3月分の電力使用量を、会長が中心となって、取りまとめて下さい。電力使用量は、電力会社が検針した「電力使用量のお知らせ」の使用量を、記入して、集計し、集計人数で割った3ヶ月の平均電力使用量と削減量を、4月20日まで、各部地域奉仕事業主査まで、報告下さい。

詳細は別紙「メンバー用ガイド」「会長用ガイド」をご覧ください。

東日本区大会で、削減率の上位3クラブを表彰対象にします。

家族が増えたり、オール電化になったり、条件が極端に変わったメンバーは、集計に加えなくてもよろしいです。

## 2. 本年度も、お年玉付き年賀状の当選切手を、よろしくお願いします。

ワイズメンズクラブ東日本区の最も基本であるCS事業は、全クラブ各メンバーからのお年玉付き年賀状の当選切手の収益金を中心として、運営されています。本年度も日本YMCA同盟とタイアップした事業や支援する事業、そして地域社会奉仕事業に使わせていただいております。一人1,250円以上を目標にご協力をお願いします。✂切 3月15日

## 3. ASF事業に、ご理解をお願いします。

日本YMCA同盟ステップ研修参加のため、財政・人的面で困難な中小YMCAの研修参加者を支援することを、本年は取り組むことになりました。同盟の調査の結果、埼玉YMCAより支援要請があり、20万円を補助することになりました。各メンバーよりのASF献金(金額は任意)をよろしくお願いします。✂切 5月15日

# 会員増強事業

会員増強事業主任 久保田康正(伊東クラブ)

## 今年度の会員増強

- 今年度は東日本区2000プロジェクトでの300名の増員が会員増強事業、7クラブの新設が東日本区2000プロジェクト委員会の目標として展開しております。

## 現在までの活動報告

「知人・友人同伴キャンペーン」

今年度3年目を迎えるキャンペーンを期間を長くし10月より4月まで(4月は入会者のみ)実施する、全クラブの参加を期待している。

毎月の入退会者の報告

第1回EMC事業委員会で提案、承認されたが各部とも提出されていない、事業主査の仕事が多くなるとの意見が多く有り事務所への会員異動報告書で兼ねることを考えたい。

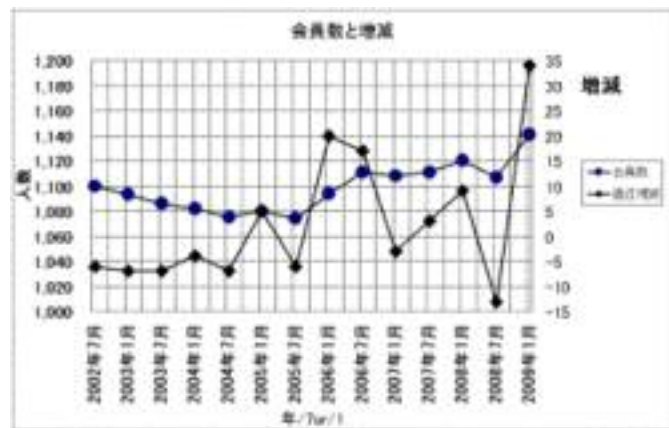
会員増強の現状

半年報では 34 名の純増、1 月を含めると 74 人増、22 人減になっていて 52 名の純増で、今期は 150 名増も可能！

右図のように半年報での 34 名増は近年になかった増加で、東日本区 2000 プロジェクトの目的が理解され、各クラブの努力の成果です。協力を感謝します。

会員増強だより

どのような取り組みをしているか EMC ジャーナルを定期的に発行し、会員数の動向と、各クラブでの新入会等を紹介しています。



## 国際・交流事業

国際・交流事業主任 辻 剛 (横浜つづきクラブ)

今年度は、「UGP 活動の底辺拡大と IBC/DBC 活動の活性化」を二大重点目標としてスタートしました。目標に掲げた二つの分野において、上半期それぞれ進展がありました。下半期は、国際的なワイズ活動の柱であります TOF と BF が活動の中心となります。過去の国際プログラムに対する日本の貢献度は非常に大きく、世界的に経済環境が厳しい今年度は、特に日本への期待度が高まっております。すべてのプログラムに対する献金の締め切り日は、3 月 15 日です。表彰の基準となる、一人当たり献金額の算定基礎となる会員数は、昨年 7 月 1 日現在の広義会員・功労会員・担当主事を含む人数ですので誤解の無い様にお願いします。

### 1. UGP 活動の底辺拡大

- 8 月 1～3 日第 15 回「AIDS 文化フォーラム in 横浜」が開催され、延べ 4,170 名の参加がありました。プログラム総数 52 の展示や講演会が展開され、ワイズユースクラブ横浜 - Y3 もプログラムに参画し、共に良き学びの時が持てました。東日本区では、25 万円を支援しました。
- 10 月 4 日東新部部会において、岡山クラブの会員でもある上村茂仁医学博士を講師にお招きし、講演会が開催されました。ワイズユースクラブ東京 - Y3 の会員など若者も参加し、医療最前線で活躍される講師の迫力ある講演をうかがいました。東新部部会では、レッドリボン・ピンや推薦書籍の販売が行われ、部会の献金も UGP のために捧げられました。
- 10 月 26 日北海道部が札幌で初めてのエイズフォーラムを開催しました。地元の有力なパネリストを揃えて、内容の濃い発表がなされました。東日本区では、10 万円を支援しパネリストを派遣しました。
- 11 月 15 日昨年度に引き続き、甲府で「エイズ文化フォーラム in 山梨」が開催されました。準備段階から高校生・大学生を巻き込んで進められた企画で、地元マスコミにも取り上げられ、当日も多くの若者が参加した意義あるフォーラムでした。東日本区では、10 万円を支援しました。
- 12 月 12 日東京 YMCA 医療福祉専門学校からの要請で講師を派遣し、90 分の特別講義が行われました。昨年度に引き続き行われた特別講義で、YMCA との協働の実が根付いた活動となっています。

上記の活動に加え、各クラブレベルでも例会において様々な HIV/AIDS の啓発プログラムが持たれ、UGP 活動は着実に進展していますが、その裏づけとなる献金が伴っていません。目標一人当たり 500 円の UGP 献金とファミリーファストによる献金をお願いしておりますが、12 月までに送金して下さったクラブは、まだ数クラブしかありません。3 月 15 日が締め切り日です。各クラブのご協力をお願いいたします。

### 2. IBC/DBC 活動の活性化

- 事業主任通信で詳細をお知らせした通り、また、巻頭の理事報告にありますように、デンマーク国際大会にからんで、二組の IBC が締結されました。
- 2 月には、東京八王子クラブが台湾・高雄港クラブと IBC を締結する予定です。インド・韓国などのクラブから、日本のクラブと IBC を締結したいという希望も寄せられています。すでに IBC 関係にあるクラブと連絡が取れないので調べてほしいというリクエストにも対応しております。IBC に関心のあるクラブは、どのようなことでも遠慮なくご相談ください。
- 東京山手クラブと大阪茨木クラブが 1 月 12 日 DBC 締結式を行いました。格調高い式文で進行され





敷地内のどこからでも富士山を見ることができる自然あふれるキャンプ場

敷地面積は 13 万坪、東京ドーム 9 個分の広大な広さです

この広大な敷地内に、ピオトープ、すすきの迷路、お花畑他楽しめる施設も充実



入り口、左がホール



裏の丘から、晴れていれば正面に駿河湾が



最後のグループ発表



参加者の写真

YVLF での経験は、他の YMCA のリーダーとの交流の中で計り知れない体験を得て帰りました。

### 3. 車椅子贈呈

メン・メネット皆様の努力の結晶である、ブルリング収集で交換した車椅子 2 台の贈呈先が決まり、その内の 1 台の贈呈式が 12 月 7 日(日)に行われました。

贈呈先はユースクラブ東京 Y-3 から推薦された東京都調布市にある『医療法人社団心身会・グループホーム愉快』です。当日は同施設の「年忘れ会」が行われており、ワイズ関係者はユースクラブ東京の三田村会長他計 5 名で贈呈式に出席しました。施設の大枝理事長から感謝状を頂き、代表して篠田が挨拶を致しました。この老人介護施設は開設されてからまだ日も浅く、車椅子が 1 台しかなく困っておられたので、今回の贈呈は大変喜ばれました。



車椅子の贈呈

もう 1 台はユースクラブ横浜 Y-3 から推薦された、鎌倉クラブの主催する「車いすと共に歩む会」への贈呈が決まりました。こちらの式典等は未定です。

4. 「ユースNEWS」は 5 号まで発行、ユース「メルマガ」は偶数月に発行

5. 今後の予定：AYC2009 準備 2010 横浜 I Y C 準備 第 22 回 YVLF 準備 STEP、YEEP の広報

## 第 68 回ワイズメンズクラブ国際大会

開催日 2008 年 7 月 31 日～8 月 3 日

場 所 デンマーク・ヘアニング (Herning) 市

参加者 世界 42 カ国より、約 1 100 名、内東日本区 74 名、西日本区 39 名

東日本区 BF 代表 (パーシャル・グラント):

須部浩右 (横浜) 小口多津子 (東京八王子)

吉田 司 (東京むかで) 宮村 暁 (横浜つづき) の各ワイズ

大会の様子をモノクロの写真で若干の説明を付けます。記: 十河

デンマークの首都コペンハーゲンにはシェラン島にあり、ヘアニングはヨーロッパと地続きのユトランド半島のほぼ中央にある。デンマークは九州くらいの面積の国、しかし大部分が平地で広く感じる。



第 1 日目 7 月 31 日: 前日の夜に到着したので午後 2 時からの開会式の前に早めに登録。上左の写真の登録デスクは、上部に掲げられた世界地図に表示のエリア毎番号の付近で登録。

◆右上の写真が大会会場、右側が登録デスクと主会場への入り口、左の三角屋根の向こう側が晩餐会会場および小会議室への入り口で、右側と左側入り口の中は L 形ホール状に繋がっている。

◆午後 2 時をやや過ぎてから開会式。直前国際会長のラッセ・ベアグステッド (デンマーク) がクリスチャンフラッグ、国際会長 V.S.バシール (インド) がワイズメンズクラブフラッグを掲げて後から入場、キャンドル点火、点鐘で開会。

◆その後、各国国旗の入場は、国名、クラブ数、メンバー数を読み上げるが、旗手の動きとのタイミングがイマイチというところ。日本は東西日本区を代表して、西日本区事務所の北村久美子さん (大阪西) が旗手が入場。この大会に参加していない国の国旗は BF 代表 (パーシャル・グラント) が旗手になって入場。しかし、国名、クラブ数 1、メンバー数 1 の読み上げを聞くと、ワイズメンズクラブのこれからの大きな課題があることが分かります。国旗は壇上の担当者に渡され、両サイドの台上に並べられました。(カメラの写角限界で片側の写真になりました。)

◆地元の Lars Krarup ヘアニング市長による歓迎の挨拶はビデオ映像の放映のみであった。

◆そして本日のメインプログラムの一つ、国際会長の引継式が厳粛に行われた。右写真

◆記念講演は世界 YMCA 同盟総主事 Dr Bart Shaha 氏による “Be the Light of Hope “(「希望の光となろう」)





総主事は YMCA とワイズメンズクラブがお互いの役割を持って、若者を育て、希望を持って前進しようと訴えました。国際大会に世界 YMCA 同盟総主事の記念講演、これはワイズと YMCA の連携に意義あるものです。

- ◆ 2 時間の休憩の後、午後 7 時から直前国際会長ナイトの晩餐会。1000 人以上が冷房のない会場に集まると暑い。通常はもっと涼しいが、大会の時は特に気温が高かったようだ。テーブル指定で日本からの参加者の座席はバラバラ。夫妻別登録では夫妻も別のテーブルが指定されていた。飲み物は有料では日本以外では普通だがピッチャー入り水 25 クローネ、ワイン 150 クローネ (1DKK=約 23 円) は税金のせいだ。メインディッシュはターキーとジャガイモ。直前国際会長の挨拶の後はボランティア賞がオーストラリアの Dale Fotheringham 氏贈られた。
- ◆ この後は聖歌隊によるゴスペル・ソングの合唱が続き、もう終わりかと思っても次の曲へと。ついに午後 11 時過ぎまでとなった。北欧のディナーは午後 8 時以降からというのが普通なので、日本人には長く感じて、集まったワイズメンは結構楽しんでた。
- ◆ これで第 1 日目が終わり、歩いて 5 分のホテルへ帰り、写真を選んで処理し、無線 LAN でインターネット接続、東日本区のホームページに掲載した。

第 2 日目 8 月 1 日

- ◆ 朝の祈りの後、ダルマス・ロランド国際書記長による国際の現況報告はエリア毎の活動状況、将来計画 (写真) 会員数の変化、TOF 資金による支援状況等、ワイズの活動全般にわたるものが報告された。
- ◆ この後、藤井直前アジアエリア会長の司会でマラリア半減活動の説明と、この活動への賛同をアピールがされました。
- ◆ 12 時 10 分頃から、第 69 回横浜国際大会のアピールタイムとなり、最初に東西日本区大会等で撮影された動画の放映に続き、日本からの参加者全員が壇上に上って横断幕を前にして参加をアピール、最後は会場を巻き込んで「行くぞ横浜」!



- ◆ この後はマラリア対策、TOF 等の分科会が小部屋に別れて開かれました。



◆夜の晩餐会ではエリア毎の出し物、午後 8 時半頃 7 分にわたり東西日本区のメンバーによる「すき焼きソング」の披露で盛り上がり。午後 10 時から近くの教会に行き夜の礼拝で 2 日目が終わり。



第 3 日目 8 月 2 日

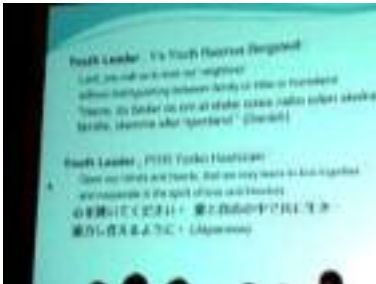
- ◆朝は国際議員谷本ワイズ（東広島）の朝の奨励は「驚は 70 年を生きる、30 年たつと嘴と羽根生え変えさせ次の 30 年・・・ワイズも、」の素晴らしい話し。
- ◆前日の分科会の報告があり、その後、小部屋でのエリア毎のミーティング。清水理事も挨拶。アジアエリア藤井直前会長の報告あり、さらに韓国のエリア独立の議論ではやや紛糾し、これからの課題
- ◆3 日目の午後はオプション・ツアー、晩餐会の最後は恒例のダンスタイム 11 時過ぎまで。



アジア地域ミーティング      Old city へオプションツアー      ディナーの後はダンスタイム

第 4 日目 8 月 3 日

◆ユースコンポジション参加者による朝の祈りは素晴らしかった（下の左・中央の写真。紙面で声が伝えられなくて残念）。その後、映像と BGM によるユースコンポジションの報告（右写真）



◆そして閉会式と閉会点鐘、その日の内にバスでコペンハーゲンへ、写真は明石海峡大橋に次ぐ世界 2 位のストアベルト橋







「東日本区チャレンジ2000決起大会」が開かれました  
2009年1月24日(土) 13:00~17:00  
場 所 東京YMCA東陽町センター・視聴覚室



140人が集まり、2000人に向けての決意を共にしました。

清水理事から「決起大会に集まり、ワイズの熱気を感じます。世界不況の中でこそワイズの働く場があります。そのためには力を付けなければ。そのための2000プロジェクト、これは不可能ではない」との力強い挨拶

久保田会員増強事業主任が「EMCへの熱き思いを語り、08-09年度は、1月を含めると74人増、22人減に、今期は150人増も可能！」

漆畑2000プロジェクト委員長は「ワイズからは真の奉仕は自分と家族、そしてクラブ。クラブが豊ならば部も、そして区も豊になる。愛の実践も一定の規模が必要。このための2000プロジェクトに取り組んでいただきたい。」とアピール

基調講演は甲府クラブの平原貞美ワイズ  
あずさ部での新クラブ設立では、設立を目指す地域での戦略を立てて、地元の会社等と連携して候補者名簿を作って進める。甲府クラブでは常に新メンバーの候補リストを持っていて、新会員を加える準備をしている。会員増強を怠ったクラブは衰退する！根気と粘り、執念ともいえる情熱をも持とう。示唆に富んだ話でした。



部毎の分科会で協議

この後、東日本区7部の部の部毎に分科会  
部毎の分科会の後は、それぞれの部から今後の方針を中心に、部毎の分科会報告がされました。  
6月までに設立、チャーターの予定で進んでいるのが銀座クラブ(仮)と清水クラブ(仮)の2クラブ、設立の行動を始めているのが3クラブ、これから新クラブ設立に向けて行動するのが数クラブと明るい報告がありました。



最後は「やるぞ2000」のシュプレヒコールで会を閉じました。

## 第69回ワイズメンズクラブ国際大会 2010年横浜国際大会

“From Our Hands, We Pass Nature's Torch”

『いのち』未来への継承 - 私たちの地球のために - 」

大会の概要 日程 2010年8月5日(木)~8日(日)

会場 パシフィコ横浜

宿泊 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

横浜ロイヤルパークホテル他

登録費 55,000円(早期登録:50,000円)

スポンサー 東日本区

サブスポンサー 西日本区

ホスト 東日本区全7部



	8月5日(木)	8月6日(金)	8月7日(土)	8月8日(日)
午前	リハーサル	・国際書記長報告等	・分科会 ・地域別会議	・礼拝 ・ユースコンボ報告 ・閉会式
昼食	-	弁当または中華街	弁当	スナック配布
午後	・開会式 ・基調講演 ・スピーチ等	エクスカッション(数 コース用意)	・分科会報告 ・特別プログラム等	(オプションツアー)
夕食	PACIFICO(屋外中心) にて「日本の祭り」(屋 台、盆踊り、大道芸...)	PACIFICO「展示ホー ル」にて着席ビュッフ ェ(スピーチ、地域別 出し物...)	PACIFICO「展示ホー ル」にて正餐(ス ピーチ、表彰、音楽、 舞踏会...)	





会場の横浜みなとみらい地区 パシフィコ横浜



インターコンチネンタルホテル  
大会会場パシフィコ横浜  
懇親会場

地図上でさくらぎ町上空付近からの写真



右:会議センター 奥:インターコンチネンタルH



晩餐会予定の展示ホール



大会主会場 国立大ホール



大会主会場パシフィコ横浜 国立大ホール

日本での開催について

- 20 年以上国際大会をホストしていない日本に対する国際的な期待に応える。
- 直近は 1988 年京都大会
- 日本のワイズ運動の素晴らしさ、優れた活動を世界に伝えることで国際的ワイズダム発展に貢献する：CS 事業、YMCA との協働、ユース、UGP への取り組み・・・

今から参加の計画を

ワイズメンズクラブは「国際協会」です。日常の生活も海外との関わりはますます深まっています。海外へ行かなくても、日本で開催する大会には多くの海外のメンバーが集まります。外国で開催されるワイズメンズクラブの国際大会に参加する費用の数分の一で参加できる国際大会です。ワイズメンズクラブの会員であればこそ体験できる機会です。この機会を生かそうではありませんか。

## 藤井寛敏ワイズ、次々期国際会長に当選

### 高田一彦ワイズ、2009～2012 の国際議員に当選

この度のワイズ国際選挙で藤井寛敏ワイズ（東京江東クラブ）が次々期国際会長（2010～2011）に、高田一彦ワイズ（横浜クラブ）が 2009～2012 の国際議員に当選されました。今回の当選の報に接して藤井寛敏ワイズからメッセージを頂きましたので下記に掲載します。



1 月 23 日未明、国際会長 Bashir さんと国際書記長の Rolando さんより次々期国際会長の選挙で私、藤井寛敏が当選した旨連絡を受けました。

皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

過去日本は 3 人の国際会長を輩出し、偉大な足跡を残されておりますが、改めてその責任の重さを痛感しております。

日本のワイズメンの皆様にて育てられました 30 余年の経験を生かし、また与えられた準備期間にしっかりと勉強をし、微力ながら国際発展の為に全力を尽くす所存であります。

また僭越ではありますが、このことが東日本区で現在進められております諸事業や 2010 年の国際大会へ向けてのモチベーションの 1 つになれば幸いです。

今後とも皆様には大変お世話になるとは思いますが何卒よろしくお願ひいたします。

先ずはご報告と御礼まで

2009 年 1 月 27 日  
藤井寛敏（東京江東クラブ）



## Note & News

国際会長 “ Be the Light of Hope ”  
 アジア会長 “ Be the Light of Hope ”  
 東日本区理事 “ Step Forward: For the Future, into the World ”

2009.2.15 発行 第2号 通巻35号



### メネット活動の報告

メネット委員長 松本倫子 (東京クラブ)

東日本区メネット会通例の  
「第12回メネットの集い」

- 11月29日(土)東京YMCA社体保専門学校で開きました。天候にも恵まれて、64名の出席者を得て幸いな一時を過ごしました。



- 講演は八王子クラブ仲田メネットで作家の難波田節子さんから「欲張って生きよう」と題してお話を戴きました。3人の子育てが終わってから小説を書き始め、遅いスタートながら、「晩秋の客」で日本文芸大賞小説功労賞も受賞され、ますます良い小説を書きたいという意欲が満ち溢れているようにお見受けしました。ご自分の体験や子育ての事、現在の社会を見つめて感じる事等、またメネット会の「絵本を贈る運動」にも触れられ子育てに絵本の果たす役割がどれだけ大きいかもお話戴きました。主婦業と作家活動を両立されている難波田さんが大切にしているのは自分の為の「25時間目」の確保との事、我々女性もいろいろの事に興味をもち、自分をふくらませる為に欲張って生きようではありませんかと結ばれました。
- 清水理事のご挨拶では、2010年の「国際大会」にはメネットの協力がとても必要であるとい

う事を強調されました。

- 6月の東日本区大会のアピールでは、メネットツアーで訪問する共働学舎からチーズの試食も届き、十勝クラブの池田メネットから詳しく説明がありました。
- 参加・不参加のメネットからも頂いた沢山の献品でミニバザーを行い、98,000円の売り上げがありました。これは国内プロジェクトの「絵本を贈る運動」に加えさせていただきます。献品・献金して下さいました方、当日お買い上げ下さった方に感謝いたします。



### 8月末から始まった各部会のうち メネットアワーが行われた 部会に出席しました

北東部会 9月6日(土) 於：東北学院大学泉  
キャンパス

講演「飲んでおいしく、美しく」  
 仙台クラブ矢部勇氏(株矢部園茶舗代表取締役)  
 内容 煎茶の氷水仕立て冷茶の実演、試飲。  
 お茶パック(美容)で益々美しくなろう。





メネットアワーには 25 名程の出席者があり、矢部メンの煎茶の氷仕立て冷茶の実演にはびっくりし、美味しく味わいました。又お茶のパックも教えて戴き早速買って帰りました。効果の程は・・・？

関東東部部会 9月13日(土)於：ラ・ベルオーラム

講演「地球環境と私達の暮らし」山川文子氏(財団法人、省エネルギーセンター・スマートライフ推進本部企画部長)



内容 地球温暖化の現状、家庭のエネルギー消費、家庭で省エネルギーをすすめるには 2010 年横浜国際大会のテーマが「環境」という事、又世間一般も地球温暖化に伴う環境問題が課題になっている現在、時に適った講演でした。産業部門よりも家庭等からのエネルギー消費量が大幅に増加しているというお話はショックでした。家庭で省エネルギーを進めるには家族全員で心がけ協力しなければと痛感しました。メネットに加えてメンの出席者も多くありました。

東新部部会 10月4日(土)於：東陽町センター  
講演「生涯現役社会の条件」

清家篤氏(慶応義塾大学商学部教授、商学部長)

内容 生涯現役社会とは、職業人として生涯現役で、家庭人として生涯現役で、社会人として生涯現役で、大切なたくわえ、生涯にわたる生活設計

講師が著書も数多くある有名な教授という事で、メンも 20 名程の参加がありました。日本は世界に類を見ない高齢化が進んでいるが、高齢化は成功の証であり、それを真に喜べるための生涯現役社会の条件とは？について具体的にお話下さいました。生涯にわたる生活設計についての指針を頂けたのではないのでしょうか。

他に 10 月に 2 つのクラブ例会でメネットナイトがもたれましたので、参加しました。

・仙台青葉城クラブメネットナイト

10月16日(木) 於：仙台 YMCA

ゲストスピーチ「仙台夜まわりグループの活動について」今井誠二氏(特定非営利活動法人「仙台夜まわりグループ」理事長)

青葉城クラブの CS 事業の支援先である、NPO 法人・ホームレス自立支援「仙台夜まわりグループ」の理事長のお話はとても興味深いものでした。8 年前、仙台の街でおもいもかけなかったホームレスの人々との出会いとその衝撃、その時から「夜まわり」を始められたと話されました。2000 年から約 200 人を超える方々を自立させる事が出来たそうです。メネット会では衣類を集めて寄贈しているとの事で、今冬も沢山の冬の衣類と十勝のジャガイモを届けられたそうです。

・仙台クラブメネットアワー(芋煮会)



10月18日(土) 於：八木山ベニランド

ゲストスピーチ「仙台青年学生センターに於いての働き・感想」

サンドラ・久美子・リー・武井さん

(北米合同教会から日本基督教団東北教区センターに派遣された宣教師)

メン・メネット協力で準備がなされ、美味しい芋煮をお腹一杯頂きました。ゲストスピーチは日系 4 世、流暢な日本語で東北教区センター内の仙台青年学生センターでの現在の働きの内容等をお話されました。今年 9 月で任期が終われば、帰米され大学院進学を目指しているという 22 歳の爽やかな女性でした。

## 第 12 回 インターナショナルユースコンボケーション

東日本区参加ユース報告書  
デンマーク 2008 年 7 月 28 日～8 月 3 日



### 【目 次】

1 . ワイズより ----- 28	3 . テーマ別論文 ----- 33
東日本区 清水理事、篠田ユース事業主任	リーダーシップ：山本義人
2 . IYC 東日本区参加ユース感想 ---- 30	異文化コミュニケーション：渡邊拓
東日本区 今井美樹、鮫島知美、関彩也香、	ユースの役割：三田村潤
三田村潤、山本義人、渡邊拓	プログラム：鮫島知美
	日本人同士のコミュニケーション
	日本人同士のチームワーク：今井美樹
	人と人：関彩也香

### 2008 年ヘアニング I Y C 報告書の発刊にあたって

東日本区理事 清水弘一



世界 16 か国、83 名のユースの皆さんが一堂に会し、去る 7 月 28 日より 8 月 3 日までの 1 週間、ヘアニング市郊外の農業学校を拠点にして、第 68 回国際大会とともにユースコンボケーションが開催されました。1 週間のプログラムを拝見しましたが、朝 7 時から夜 11 時までのぎっしりのスケジュールでした。東日本区より 6 名、西日本区から 10 名のユースの皆さんが、それぞれのお国の事情や言葉のハンディや習慣の違いを越え、世界のユースとの話し合いや交流を通して、素晴らしい体験をされました。

そしてコミュニケーションやプレゼンテーションの大切さを学びました。外国ユースの全力で立ち向かってくる迫力に対抗し、日本からの 16 名はそれに負けまいと、日本のこと、横浜国際大会のことを一生懸命アピールしたことを後で耳にしました。国際大会最終日、ユースコンボケーション参加者全員が主催したデポーションの感動と報告は、このたびのユースコンボケーションの成功を実証してくれました。

この報告書は、そんな貴重な体験を、東西両区のユース 16 名が一つとなって作成していただきました。この報告書を通して、ユースの皆さんとワイズがその体験と感動をともに共有できればと願っています。



これからが大切！

東日本区ユース事業主任 篠田秀樹



IYC ご参加の皆さん、どうもお疲れ様でした。今回私は不参加で大変申し訳ありませんでした。参加ユースの皆さんにとって大変有意義で思い出に残る会議であった様で、誠に嬉しい限りです。また 2010 年の横浜国際ユースコンボケーション (IYC) のアピールを大々的にして頂き、どうもありがとうございました。

私はリーダー時代にフィリピン・ワークキャンプに参加し、貴重な経験をさせていただきました。その時に思いましたが、得た知識や経験を自分の今後に生かすことは勿論大切ですが、一番重要なことはそれを一人でも多くの方々に伝えていくことです。でもこれがとても難しい！是非卓話者として、各クラブから招聘があったときはご協力下さい。そして今回得た知識・経験だけでなく、ワイズの素晴らしさを、仲間のユースやご友人に是非伝えて下さい。それが一番の恩返しとなります。

今回の IYC は『IYC 横浜 2010』へのスタートです。是非今後も積極的なご参加・ご協力をお願い致します。



会場前にて



ソーラン節



Danish Culture Night



カヌー大会



## 【IYC 東日本区参加ユース感想】

### IYC に参加して

横浜つづきクラブ

今井美樹



緑が生い茂り、空がとても高い。その壮大な風景を持つデンマーク、ヘアニングに私は一度で魅せられた。これから起こる出来事に期待を膨らませながらも、心の中では小さな不安が見え隠れしていた。

大会会場に到着すると、すでに大会は始まっていた。その出来上がりかけている参加者の輪の中に入っていき、私にとってはなかなか難しく、何故か焦りを感じていた。一年ぶりの海外渡航だとこんなにも緊張するのだろうか。これまでに培った語彙力だとか、コミュニケーション能力はここまで落ちたのだろうか。一人、悶々と思いを巡らせる一日だった。

翌朝、目が覚めると状況は急変した。周りに流れる英語の一つ一つを掴むことができた。これは前日に思いを巡らせたからではなく、楽しく誰かと話したい、もしくは、自分をもう一度試したい、という気持ちからきたものなのではないかと思う。また、多くの友人との会話の中で、たくさんの価値観も見出すことができた。特に、ボランティアに対する意識や価値観については様々な意見が交わされ、自分の中のボランティア感に影響を与えた。どの考え方が正しいとか、そんな線引きをするつもりはない。ただ、自分ではない誰かが笑顔になるなら、幸せだと感じてくれるなら、私たちも同時に幸せなのだ。話していた友人の一人の言葉に、皆が頷いた。

これまでボランティアをやってきた上で、身近には共にボランティアを語る友人はいなかった。しかし、IYCを通して、共通のことを語り合える仲間ができたことは今の私にとっても、そしてこれからの私にとっても貴重な出会いであった。

のどかで、静かな自転車の行きかう街にて、私はとても有意義な時間を過ごすことができた。出会った多くの人々との友情は絆として私の心に残るだろう。そして、その人たちから得た多様な意見、価値観は知識となり私の頭に残るだろう。それらをこれからの私の人生に存分に活かしていきたい。

### IYC に参加して

東京 YMCA liby

鮫島知美



10 日間という短い期間ではありましたが、予想以上に様々なことが起こり、充実した日々を過ごすことができました。

旅の始まりから、飛行機の遅れというちょっとしたトラブルが起きましたが、そのことがかえって、東日本から参加するメンバーと打ち解けるきっかけにもなってくれました。

本題のユースコンボケーションでは、ワイズの大きさ、つながりの強さというものを目の当たりにし、本当に驚きました。世界中からたくさんの若者が参加し、ワイズユースの働きや各国の現状などを共有し、有意義な時間を過ごすことができました。私は香港やタイの方と一緒にいましたが、彼らはとても真剣かつ熱心にワイズの活動をしていると聞き、ワイズに対する誇りと自信を持っている姿がとても眩しく、尊敬の眼差しを向けていました。また、ワイズがこれだけ若者を集められるということに、ありきたりな言葉ですが、「すごいっ！」の一言です。これだけいけばユースから何かアクションを起こすことができ、これが本当に大きな強みだと思いました。「何だってできる！」という可能性と希望を抱くことができました。

さて、7 日間プログラムは内容盛りだくさんでしたが、一番印象に残っているものは“平和を築くために”というゲストスピーカーの方からのお話でした。このお話だけではなく、コンボケーション全体が“平和”というキーワードで動いていたように感じます。世界中の誰もが“平和”な世界を求め、願い、祈り続けているにもかかわらず、なかなか状況は変わっていきません。「何がそれを阻害しているのか。」「私たちには何ができるのか。」答えはわかっている、気づいているのではないのでしょうか。- 私たち自身が peace maker となって、世界を社会を変えていく - どれだけ小さなことでも、その一步を踏み出す段階にきていると思います。一步を踏みだし、アクションを起こし、それを続けていく努力が求められているの

だと強く感じました。- Y'sなら Y's youth ならそれができないのではないだろうか。私自身もそれができないのではないだろうか。- そういうことを感じられた 10 日間でした。

最後になりましたが、今回共に 10 日間を過ごした東日本、西日本からのメンバーの皆さんありがとうございました。また参加するにあたって、多大なご支援をしてくださった Y's Men の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

### IYC に参加して

千葉 YMCA  
関彩也香



今回、インターナショナルユースコンボケーション（以下 IYC）に参加するにあたり、出発前の私のワイズやワイズユース、更に IYC や AYC に関する知識は皆無だった。

私は小さい頃から YMCA のキャンプにメンバーとして参加し、今はリーダーとして YMCA と関わりを持たせて頂いているが、ワイズやワイズユースに関する事などは正直今まで気にかけてことがなかった。また、この話を頂いた当初は自分が何をしに行くのかもよく分かっていないという状態だった。しかし今回ちょっとしたきっかけをもらい、全く知識のない私が初めての IYC に参加するになった。

この IYC の中で、ディスカッションや発言機会の多く持てる話し合いがたくさん行われ、各国の現状や、これからのユースの動きに対する話をたくさん聞いた。

その中で特に印象に残ったものが 3 つあり、1 つは、マラリアのこと。私たち日本人にはあまり関わりが少なく、マラリアが何かということは知っていたがあまり真剣に考えたことはなかった。しかし、いつもノリが良くふざけている時間の多いアフリカから参加している友人が真剣にこの話題に取り組んでいる姿を見て、私が普段あまり考えていないこの問題も彼らにとっては身近に迫る大きな問題で、私は今すぐにそれに対して何かすることはできないけど、知らなくては行けな

いんだと強烈に思った。二つ目は HIV・AIDS の事で、これは日本で今大変大きな問題になっているにもかかわらず深く考えたことがなかった。しかし、この話題が上った時に友人から参加者の中に父を AIDS で亡くしたという人がいると聞き、この問題はすでに自分に遠い話ではなくなっていると痛烈に感じた。三つ目は、日本の中での差別やいじめのこと。私はディスカッションで差別に関する話を話し合うグループだったが、他国の話を聞いているとやはり日本の差別やいじめは特にひどいと感じた。例えば、日本には差別やいじめによる集団自殺やホームレス差別による殺傷などがあるが、これがある国は私のグループの中にはなかった。他にもたくさん例があるが、この事はとても衝撃的だった。

私は今回 IYC に知識のないまま参加し、たくさんの人と出会いたくさんの人と関わり、IYC は小さな地球なんだと感じた。世界中に友人ができ、世界の問題が急速に自分の友人がさらされている身近で大きな問題になる。これは、貴重な体験などという言葉では表せないくらいのことだと思う。

一人で世界や世界の問題は変えられないと言うが、一人も始めなければ何も変わらないと思う。また、幸運なことに世界中に同じ思いを持ち活動している仲間ができたことはとても心強く頼もしい。これから、私はたくさんの人にこれを伝え、同じ思いを持つ仲間が増えることを祈り、行動していきたい。

このような体験や、考えを持つことができたのも最初の小さなきっかけから。今回 IYC に参加できて、このような考えを持つことができたチャンスを持てたことがとても誇りに思います。つきましては、知識もなにもない私をサポートして頂いた千葉ワイズメンズクラブの皆様、また東日本区の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

千葉にはまだワイズユースクラブはありませんが、次回の AYC や IYC にも参加したいと思っていますので、是非よろしく願いいたします。

1人+1人は無限大

ワイズ・ユースクラブ東京 Y3

三田村 潤



6年振り2回目の IYC に参加させていただきました。今回は訳があって途中から参加させていただく事になり、最初は16カ国、83人もいるユース達と打ち解ける事ができるのか？

実行委員が考えてくれたプログラムをちゃんと理解できるのかなどといった不安がありました。しかし、いざ行ってみると日本の仲間はもちろん、全体集会でも私を皆に紹介してくれて、待っていたよ！といわんばかりに歓迎されたり、今までどういった流れでこれからはどういう方向性なのか丁寧に教えてくれたのですぐに打ち解ける事ができ、6年前の IYC と同様に参加する人達の変わらない優しさ、ユース同士の仲間意識を感じられることができ嬉しかったし、物凄く安心しました。

Program の1つの BCP (Build a Culture of Peace) project では環境問題、差別問題、ユースのリスク、性の不平等、HIV/AIDS 感染問題の5つのテーマがあり、それぞれそのテーマによってグループ分けして興味のあるものに参加し、グループに別れてから2回ミーティングを行うのですが、1回目は問題提起、2回目にその理由原因を考察して解決方法を自分達なりにまとめて、最終的にユース皆の前で発表するという形式を取って行われました。私はワイズ・ユースクラブ東京 Y3 で進めている HIV/AIDS の勉強会といった活動もあり、2回目からの参加でも取り組みやすいと思い HIV/AIDS 問題を選びました。この問題に取り組んだのは私達日本、インド、スリランカ、ウガンダとケニアの人々でやはり東南アジアやアフリカの人々が関心を持つことが多く、問題が身近なものと感じているからこそ「現状を伝えたい!」、「少しでも苦しむ人々を減らしたい!」という熱い意思をもって、性教育を伝える年代、現状にあるデータの伝達の仕組みだとか日本とは違う状況を知る事ができて今後のクラブの活動へと繋げることができそうです。発表にあたって皆を惹きこませる力、楽しませながらも言いたい事を伝える聞かせ上手な方が多く感心させられる事ばかりでした。

こういった社会問題を考えていくにあたってやはり解決方法は2回のミーティングだけではできないのでそれぞれ国の代表者を決めて、各自帰国してからも「どういう現状なのか?」、「実際に自分達が決めたアクションというのがどう影響を与えるか?」など報告しあうというようなことにまとまりました。今回はただ参加して刺激を受けることに終わらず、これから一緒に問題を考えて次に繋がるような形にもっていった事が大きいと思います。これによってユース同士の連携を取りやすくなり、別の問題でも違う国によってはどういう見解があるのか聞いて、1つの考え方に捉われずよりよい世界へとつなげる事ができると思いました。

IYC に参加して

沼津ワイズメンズクラブ

渡邊拓



まずは、このような素晴らしい機会を与えて下さったワイズの皆様、そして共に素晴らしい時間を分かち合った仲間へ心から御礼申し上げます。海外経験の浅い私にとって、デンマークでの日々は刺激的なものであると同時に、驚きと発見の連続でした。

しかし、私が異国デンマークの地において、最も学んだこととはなんでしょうか。世界の広さ? 英語の重要性? 機内食の味?

いえ、おそらくそれは「自分のちっぽけさ」でしょう。

世界の広さを知らなかった自分のちっぽけさ、英語の重要性を侮っていた自分のちっぽけさ、機内食の味をなめきっていた自分のちっぽけさ。全てはそれに尽きます。

言い換えるならば「無知」というべきです。「知らないこと」は幸せでありましょう。日本という、言語も統一され、世界から切り離されている島国において、日々のコミュニケーションをなんの苦勞もなく行うことに罪はありません。ですが、「知ること」によってのみ、得ることのできる喜びもあります。

失礼ながら、私は今回の IYC に満足してはいません。満足すれば、そこで完結してしまうからです。満ち足りないからこそ、次を求め、前に進むことができる。成長することができる。人として



の進歩に終わりはないのです。だからこそ今回の経験を自らの血肉とし、今後の活動、これからの人生に繋げること。それが私にチャンスを与えてくださった皆様に対しての最大の恩返しなのだと確信しています。

### IYC に参加して

ワイズ・ユースクラブ東京 - Y3

山本義人



このたび、東日本区から6名のユースが、デンマークで開催されたIYCに参加して参りました。

東日本区は、行くまえから色々トラブルがあり、我々がデンマークに到着したときには、既にプログラムが始まっていました。そこで、まず感じた印象は「熱い!」ということです。「この輪の中に溶け込んでいけるのだろうか・・・」という焦りが、東日本区全員が大会で最初に共通して感じた気持ちです。大会では、HIV/AIDS や性差別などのテーマの下にグループディスカッションを行ったり、リーダーシップについて議論したり

しました。また、カヌー大会などユース同士の交流を持てるプログラムも多かったです。何においても全力で参加している世界のユースを見て、負けてられないという思いもあり、世界のユースとの交流を通してしか学べないものがある、という自覚を胸に、日本について(横浜でのIYCなど)や自分達の日々の活動についてもアピールしてきました。

ディスカッションでは、与えられたテーマのもとで、今、何が問題になっているのか、それを解決するためにユースはどのような目標を設定して、それにいかに取り組むべきか、という観点から活発な議論がなされました。また、ユースクラブの運営方法についても話し合う機会があり、他ユースクラブと問題をシェアしあうこともでき、発足して間もない東京Y-3にとっては色々勉強になりました。

長いようで、本当に短い期間でしたが、このIYCで学んだことをいつまでも忘れずに、心に留めておきたいと思います。

## 【テーマ別論文】

### リーダーシップについて

ワイズ・ユースクラブ東京 Y-3

山本義人

今回は、東日本区からの参加者を束ねる団長という立場でIYCに参加した。IYCでは色々貴重な経験をしたが、リーダーシップという観点から、今回学んだこと、感じたことをまとめていきたいと思う。

団長として派遣されている以上は、東日本区としてまとまりをつくらないといけないし、そして、次の行動へとメンバーを導かなければならない。しかし、今回、それができたかという疑問が残る。

では、何が原因だったのか?まず、アドリブで何とかなると思い、事前の準備が足りていなかったし、団長という立場を甘く見ていた。そして最大の原因は私のプライドだ。何をしても、自分にそれが出来ないことがいやな私は、人に助けを求めたり、人から忠告されたりするということがあまり好きではなかった。だから、一人では

何もできやしないのに、何でも自分だけでやろうとしてしまう。でも、結局できないものだから、人はついてこない、そしてますます自己嫌悪に陥る、という悪循環が生じてしまった。そういう時に、色々な人がアドバイスをくれた。そして、メンバーの個性に応じて、色々サポートをお願いしてみた。自分にはこういうことは出来ない、と素直に認めて、補ってくれるようお願いした。すると、今までうまくいかなかったことが嘘のようにうまくいき、そして、すごく強い絆をつくることが出来た。

リーダーは、その場その場で、「今あるべき状況」を作り出すことが出来るか、というただ1点でその真価が問われると思う。「今あるべき状況」を作り出すという成果物は一つだが、それを実現するためのプロセスは十人十色である。自分で何でも出来るリーダーもいれば、みんなで協力して一つの目標を築くように導くリーダーもいる。私は、リーダーとは前者の様な、ちょっと強引にみんなを引っ張っていくイメージを抱いていたが、

人それぞれのリーダーのあり方がある。そういうことが、今回の貴重な旅を通じて学ぶことができた。

### 異文化コミュニケーション

沼津ワイズメンズクラブ

渡邊 拓

「異文化コミュニケーション」とはよくいったものです。もちろん世界的視野を得るために、とても大切なことではありますが、私たちはそればかりにとらわれ、なにかを見落としてはいけないでしょうか。それは異文化コミュニケーションならぬ「同文化コミュニケーション」です。

海外においては、日本の中において当然のごとく通じる言語、そう、日本語が理解してもらえません。私にとって、デンマークでのコミュニケーションは、常に戸惑いを覚えるものでした。私の英語力では十分な意思疎通を図ることができないからです。ですから、その環境で私が使うことができた確実なコミュニケーション手段とは「Hello」という挨拶の意、「Thank you」という感謝の意、「sorry」という謝罪の意、この3つの意思表示でした。満足なコミュニケーションはできなくとも、せめてこの3つだけは・・・と必死になって使っていた気がします。(英語が堪能な方からすれば滑稽な話かもしれませんが。)もちろん時間が経つにつれ、英語という言語を少しながら身近なものに感じることができましたが、上達したというには程遠いでしょう。そういった苦悩があったからこそ私は実感しました。

いま私たちが当然のごとく使っている母国語、つまり日本語がどんなにかけがえのないものであるか、それを意図せず理解してくれる人々の存在がどんなに大切であるか。

もしかしたら、それはちょっと極端すぎではないかと抵抗を持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、私たちが暮らすこの国では、この当たり前の3つの言葉、「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」をきちんと使っている人が少ないように思えるのです。日々すれ違う隣人との挨拶すらもままならない。周りへの感謝の心もない。そして謝罪と反省の心すらも。これらの言葉が社交辞令として頻繁に使われることはあっても、心をこめて使われていることがあまりに少ない。とてももったいないことだと思いま

るか。社交辞令をやめろとか、無理に感謝しろ、謝罪しろとかそういうつもりはありません。心の片隅にほんの少しとどめておくだけでよいのだと思います。

もちろん異文化コミュニケーションの重要性も忘れてはならないことです。ですが、まずは身近にあって当たり前だと思い込んでいるものの大切さを知ること。自分の近い人を大切にできない人が、他人に優しくできないのと同様に、「同文化コミュニケーション」を大切にできない人が、それよりもっと複雑な「異文化コミュニケーション」をこなすことができるかどうかを、私たちは深く考えなければならぬでしょう。

### コースの役割

ワイズ・ユースクラブ東京 Y-3

三田村 潤

ワイズ・ユースクラブのメンバーがいる場合、そのクラブ紹介を Youth Intern の Aeree から聞かれた複数ある質問をもとにプレゼンで行いました。その内容というのが、私達がどのような活動をしているのか？どんなメンバーがいるのか？規模はどんなものなのか？ワイズメンズクラブからの支援はどんなものだったのか？どういった事を Vision にもっていて、最終的にどんな形にもっていくのか？といったもので、ワイズ・ユースクラブ東京 Y3 の副会長でもある団長の山本君が発表しました。発表は Nairobi Y's Youth Club、Y's Youth Club of Tokyo - Y3、Peace Korea Y's Youth Club、Y's Youth Club of Himeji - Y3、Y's Youth Club of Island South、Renaissance Y's Youth Club の6つのクラブが行い、このプログラムをきっかけに私たちのクラブのことも知ってもらえたと思いますし、「ユースクラブを立ち上げたいから相談にのってくれない？」と聞かれたり、ユースクラブのメンバーが抱えている同じような問題を話し合ったり、ワイズ・ユースクラブの設立や活動に関して皆で共有することができて僅かながら達成感がありました。

大会の途中で2010年に行われる横浜 IYC のアピール時間を30分もっているから、と現地に行ってから言われて正直のところを言うと焦りましたが東と西のメンバーで話し合い、「ハレルヤ」という曲を「横浜」にアレンジしてユース皆で



歌ったり、西日本区の大村さんの地元熊本の「オテモヤンサンバ」という踊りを通じて全体と一体化してその場を楽しむ事と横浜をアピールすることができました。進行させていくにあたっての周りにいるメンバーの流れの掴み方のうまさ、一緒にやっていく中で人と人との協力によって得た力で、新たに人を動かす事の凄さを実感できました。一人+一人は無量大！伝えるという大きな力、ボランティアの真髄を見た気がします。

そして今回特に思ったのが、IYC の program 全体が以前と比べてしっかりとしたものになったということです。これはもちろん頑張ってくれたユース実行委員のおかげですが、周りにいるユース全体としてのやる気の上昇そして問題意識の定着があるからできることだと思います。今、国内でもテレビや広告などから見ても分かるようにボランティア活動が活発化してきたし、日本に住む人そしてその他世界中の人々が、様々な場所で起こっている貧困、感染症、差別や人権無視といった社会問題に対して「他人だし関係ないよ。」と目を背けるのではなく、向きあおうとする人達が増えています。国としてではなく、一人の「人間」として。世界中にいる一人一人にそういった流れができつつある中、今回様々な program を通して再認識する事のできたリーダーシップを発揮して率先して問題に取り組みたいと思えるようになり、ワイズ・ユースクラブ東京 Y3 として行動に移していきたいと思っています。

自分自身、以前参加したときよりも色々な事を経験、勉強して臨んだので慣れない英語しか共通の言語がない中でも今回は少し余裕を持って周りを見渡す事ができたと思います。

これらの経験を活かしてワイズ・ユースクラブ東京 Y3の活動へ！そして次の2010年横浜IYCへと繋げていきたいです！

最後になりますが、このような素晴らしい機会をいただき本当にありがとうございました。

## プログラムについて

東京 YMCA liby  
鮫島知美

7/28～8/3 までの7日間わたって行われたプログラムについて紹介いたします。項目ごとに分けると以下ようになります。

### 1. Y's youth の働きなど

ここでは Y's Youth や Y's Men についての説明、委員・役員の紹介、次の代表者の選挙などが行われました。代表選挙では始め3人の立候補者がいましたが、そのうちの1人が立候補の資格を満たしていないということが判明し、2人の候補者の中から選ぶということになりました。この選挙は youth convocation の中で最も大きなプログラムで、東日本も一票入れる権利がありました。6人で話しあい、期待できる一人に決め、票を入れました。また他にも各国 youth の活動紹介やユースバザーや TOF、今後 youth クラブを設立するにあたっての説明などがありました。

### 2. ゲストからのお話やワークショップ

Youth の会場には3名の特別ゲストがいらしてくださいました。平和を築くためにというテーマでのお話、Y's Men International が行うマラリア撲滅プロジェクトについて、リーダーシップトレーニングというワークショップがありました。リーダーシップトレーニングでは「リーダーとは」という問いかけに74もの資質が我々 youth から挙げられました。私もそのうちの1つを何とか答えることができましたが、他の人からの意見はどれも納得できるものばかりでした。3名のお話は考えさせられ、勉強になり、今後 youth 活動を活発にさせていく上で重要なものであったと思います。

### 3. ミニプロジェクト

平和を築くというテーマの下、5つのトピックに分かれ話し合いが持たれました。具体的には差別と不寛容、ジェンダー不平等、環境問題、危機にあるユース、HIV/AIDS と他の病気の中から1つ関心のあるものを選び、そのグループで話し合いをしました。あまり時間がない中でも、それぞれがそのトピックについて思うところを発表し、お互いの現状を共有した後、問題解決のための目標やキャンペーンを決めました。

私が選んだトピックは差別と不寛容でした。9～10ヶ国のメンバーが集まり、それぞれの国の状況や問題点を話し合いました。国が違えば状況も異なり、人種・民族、経済格差、ジェンダーなどたくさん問題が挙げられました。その中で、人種に対する差別という問題に

焦点をあて、それを解決していくためのアクションプランを考えました。

#### 4. 文化紹介など

夕食の後は、大体が各国の文化紹介やダンスや歌をうたうといった楽しいプログラムばかりでした。特に、初日のデンマーク cultural night では、デンマーク人のとてもおもしろいお兄さんが主導し、みんなで歌って踊ってとても楽しいひとときを過ごせました。各国の文化紹介もただ披露するだけでなく、全員を巻き込んで踊ったり、ゲームをするなど、誰もが楽しんで参加していました。

また、カヌーをしたり、夜の街に繰り出したりと遊んで、楽しんで、様々な国の人たちと交流する機会が多くありました。

#### 5. Y's Men International convocation への出席

開会式、閉会式、最終日前日の夕食会に出席しました。また、閉会式前の worship service をユース全員で行いました。この礼拝で歌った歌が今でも頭から離れないほど、印象的な歌ばかりでした。素敵な worship service を行うことができたと思っています。

#### 6. 2010 年開催国（日本）のアピール

次の IYC のアピールを西日本、東日本合同で行いました。ワイズの方からお借りしたはっぴを着てアピールしました。

プログラムは最も重要な 1 の youth の働きのところに重きが置かれ、充実した 7 日間でした。個人的には全部理解できないなりに、平和を築くというテーマのお話やリーダーシップトレーニング、様々な国の文化紹介が興味深く、おもしろいプログラムでした。

### 日本人同士のコミュニケーション

#### 日本人同士のチームワーク

横浜つづきクラブ

今井美樹

7月27日、午後二時三十分、成田空港。これは私たちにとって二度目の顔合わせだった。お互いのことを大して知っているわけではない。ただ、これから約十日間共に過ごす仲間がこの場所に集まった、それだけである。しかし、この日から日を追うごとにこの仲間の絆は深まっていくのだ。

まずは成田からバンコクを目指す。飛行機の中ではトランプをしたり、読書をしたりと、これから始まる、いや始まりを迎えたこの旅にメンバーそれぞれが胸を高鳴らせていた。バンコクに到着すると、早速ホテル宿泊の手続きを済ませにメンバーのうち二人が積極的に行動する。成田空港に出発時にはバンコクからコペンハーゲン行きの飛行機の遅延が決定していたため、バンコクに一泊することが決まっていた。その交渉をチェックインカウンターで済ませる。宿泊先のホテルでは一室に集まり、Cultural Night の打ち合わせ、練習を始めた。未完成としか言いようがない出し物をどのように展開させていくか、メンバー全員で話し合った。

大会会場に到着すると、既に各国から多くの参加者が集まっていた。これからこの中で生活していくんだな、きっとメンバー全員がこの時に期待と不安を同時に手にしたことだろう。大会中には様々なことがたくさんあった。異文化により生じる問題というよりも、英語ができなくて一人で悩むことのほうが多く、その度に互いに助け合った。ただ話を聞いてあげたり、友人間の橋渡しをしたり。また、メンバーにどこか怠惰な姿勢が見受けられれば、リーダーが率先してそれを指摘した。友情の中に、確かに信頼があり、責任があった。

一方で、西日本代表のメンバーは東よりも団結しているようだった。メンバー全員に気持ちの温度差なく、何事にも積極的に取り組む姿勢は東にはなかった一面だと思う。

仲間というものは、ただ同じ時間を共にするというだけでは、お互いに足りないものを補完しあって一つのものを築きあげたり、成し遂げたり、そんなことをする友人の輪なのではないだろうか。英語が話せる者は、旅路において皆をサポートし、皆が抱える不安を恥ずことなく吐き出す者もいれば、それを一生懸命励ます者もいた。そして、そのメンバー全員を統括するリーダーには多大なる責任感と、使命感があったことだろう。

他人同士だった者が、あるきっかけを通して仲間となる。たった十日間と言うべきだろうか、それとも実に十日間と言うべきだろうか。この長いようで短い期間で出会った人々との関係を大切にしていきたいと心から思う。



人 と 人

千葉 YMCA  
関彩也香

今回の IYC では、私たち東からは 6 名、西からは 9 名のユースの参加となりました。

IYC 初日に顔合わせをした時、自分たちが長旅で疲れていたことや西からの参加者が多いということもあり、とても元気でパワーの溢れていた西の人たちを見て私は少し驚いてしまいました。

現地に到着する前は、同じ日本人同士、言葉も通じるし文化も西と東の差は少なからずあれど、大して変わらないだろうからすぐに仲良くなれると思っていました。

また、3 日目の Cultural Night では東西合同でソーラン節をやる予定だったのでそこで一気に仲良くなれるのではないかなという期待も抱いていました。

しかし、私たち東の人たちは途中でソーラン節を踊ることを一時断念し、最後の最後になってやっぱり参加させてもらおうという身勝手な行いをしてしまい、結果西の人たちに迷惑をかけるという形になってしまいました。

そのような状況の中でも、西の人たちは変わらずに優しく話しかけてくれ、また初参加の多い東のユースを気にかけてくれました。このことは、

私たちの不安を大きく取り除いてくれ、この事があったからこそ IYC が何倍も楽しくなったのは間違いのないと思います。

今回のことから、私はやはり言葉や文化は一つのつながりでしかないと感じました。同じ国だからどうか、似たような文化だからどうかはあまり関係がなく、人対人として接するのだから、言語や文化に甘んじることなく相手のことを知ろうとする態度や気にかけてという誠意が何よりも大切なんだなぁと改めて身をもって感じる事ができました。

また、今回の IYC では西のユースの方々の心づかいと気配りが大きく、それにより東西のユースがうまくまとまる事ができたのは言うまでもありません。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これから、私たちが次の IYC や AYC に参加するかどうかはわかりませんが、今回の IYC で学んだ大切なことを今後の人生の中で生かしていけたらいいと思います。また、願わくば次の IYC や AYC で私たちが今回受けたような優しい心遣いを周りに返せるようになれたらいいなと思います。



2010年 横浜 IYC 紹介

2008～2009 年度

## 第 1 回東日本区役員会議事録

日 時：2008 年 7 月 12 日(土)13：00～17：30、13 日(日) 9：45～12：00

場 所：日本 YMCA 同盟 JRM 会議室

出 席：32 名（議決権者 16 名全員出席）

以下原則として敬称略

第 1 日目・7 月 12 日(土) 13：00～17：30

## 1. 開会式 司会：書記 十河 弘

開会点鐘、開会祈祷：越智直前理事、ワイズソング

理事挨拶：「前へ、明日へ、世界へ」の主題をもって皆様のご協力でご一年間進みたい。

出席者確認：議決権者全員 16 名を含む 31 名が出席（トラベルコーディネーター：久保田ワイズが  
13 日のみの出席）氏名は別掲

オリエンテーション 鈴木所長から

## 2. 理事報告

東日本区 2000 プロジェクトは 2000 人が主目的でなく、Y's の発展、YMCA への貢献を強めるため。7/1 の国際会長 V.S.Bashir から、世界の Y's が昨年度 3 万人を越え、今年度 35,000 人を目指す。このため Extension, Extension, Extension と言っています。2000 プロジェクト提示後国際会長の方針を知り、同じ方向であった。更に今年度は 2010 横浜国際大会に向けての準備があります。その他の理事報告は役員会資料 p5 参照。

理事事務局参与として村杉克己君(東京北)が事務局のサポートに当たることを紹介。

## 3. 直前理事報告

2009 年のスリランカでのアジア地域大会は、国内紛争のあるスリランカで行うか否かの賛否の投票が 6/30 に行われ開催に賛成 9、反対 0、棄権 2 でスリランカでの開催が決定されました。

## 4. 日本 YMCA 同盟 山田公平総主事のメッセージ（追加プログラム）下記にメッセージを要約

YMCA 地域円卓会議（フィリピン）に長尾ひろみさんの参加、アジア・太平洋地域のユース円卓会議 7/7-11（東山荘）も東日本区の支援を得ました。

YMCA はユースを育成する団体として世界 YMCA 同盟が育成を進める。日本ではユースを交えたシステムを作りたい。100 人のユースを地球市民に育てる。育てるため 1 人 20 万円の費用が必要、10 万円は支援者から、10 万円はユースファンドから、このユースファンドに 1000 万円必要。このため 100 人のスポンサーを求める。ワイズもこのことを取り上げていただきたい。協力をお願いを各クラブに送らせていただきたい。

## 5. 事業主任活動計画 以下役員会資料により、強調点を記録として要約

(1) 地域奉仕事業主任 山田敏明：通常の CS 活動に加えて環境問題を取り上げる。

(2) 会員増強事業主任 久保田康正：EMC は区 2000 プロジェクトと両輪として活動したい。

(3) 国際・交流事業主任 辻 剛：UGP4 年目中だるみ対策、IBC の活性化のためアンケートを実施。

(4) ユース事業主任 篠田秀樹：ユースコンボ、YVLF、プルリング、YEPP、STEP 推進。

## 6. 部長活動計画 以下役員会資料により、強調点を記録として要約

(1) 北海道部部長 中田千鶴：第一に 2000 プロジェクト、AIDS フォーラムでも説明。

(2) 北東部部長 横倉 純：7/26 の評議会で 2000 プロジェクトをメインテーマとする。

(3) 関東東部部長 佐野 守：埼玉地区のクラブを強化、主査とクラブとの対話を充実。

(4) 東新部部長 堀井 堯：部会で HIV/SIDS、2000 プロジェクトは桜美林地区銀座/築地地区。

(5) あずさ部部長 宮内友弥：各クラブ 20%の純増、小布施地区、八王子以西で各 1 クラブ。

(6) 湘南・沖縄部部長 里吉時夫：9 クラブ 200 人体制で全クラブ Good standing、国際大会を成功。

(7) 富士山部部長 田邊寛司：自分のクラブで個性を生かして楽しく、自分の勉強のため。

## 7. 委員会および担当者活動計画

(1) 国際・アジア関連 直前アジア会長 藤井寛敏（要約）



今回の国際議会で Y's Extension Support (YES) というファンドが出来る予定。Extension に EF を使っていたが、Extension にはお金がかかる。特にヨーロッパは東欧への Extension にお金がかかっている。1 人 2~3 スイスフランを集め、2/3 はエリアに返し、1/3 は国際で管理し、Donation の出ないアフリカ等へ回す。EF を充実させるのではなく、YES の方に力を入れる方向にある。

マラリア防止ネット 1 枚 us\$10 ですのでクラブとしてできるだけ多くの枚数分を献金して欲しい。これは 10 月の国連デーに合わせるため 5 月に投票があった。現在は HIV が動いているので反対したが、反対は 1 票のみであった。19 票が賛成。寄付の要請が来る。

Vision2020 があり、2020 年にはどのような Y's Men になってほしいかの検討が始まっている。あと 1 年は国際議員なので、情報を流します。

- (2) 書 記 十河 弘：役員会資料 p25 により説明。
  - (3) 会 計 菊地弘生：各部の会計口座を 8 月 31 日までに東日本区事務所へ。
  - (3) 文献委員会 上谷喜謙：区報編集補助者選任の件について、1 年掛けて方針を出す。
  - (4) LT 委員長 駒田勝彦：次期事業主任・次期部長研修会 10/25 (土) YMCA 同盟にて  
次期部役員・次期会長研修会 3/28 (土) ~ 29 (日) 東山荘にて  
事業主任マニュアル、議事法の提案に向けて作業を進める(継続) 部運営マニュアル作成支援を行う。
  - (5) メネット委員長 松本倫子：役員会資料 p30 による。
  - (6) 組織検討委員長 小山正直：役員会から諮問により対応する。
  - (7) ワイズ基金運営委員会委員長 加藤利榮：07-08 年の実績は 1,423,000 円。
  - (8) 2000 プロジェクト委員長 漆畑義彦  
2000 プロジェクトは、実際は 5 年、10 年、30 年先まで考える必要がある。若返りしないとクラブは衰退するのは分かっている。クラブができれば 2000 人にはなる。2000 プロジェクトのための 3 つの重点地域担当  
北海道：清水委員、鈴木健次委員  
沖縄：小原さんのような沖縄を知っている人  
静岡：漆畑委員長
  - (9) 東日本区ヒストリアン 吉田明弘：今年は整理、整頓を進める。
  - (10) IT アドバイザ 十河弘：ML19 種類は 6/30 更新、HP の今年度会員ページはパスワードなし。
  - (11) トラベルコーディネーター 久保田貞視 (13 日に説明)  
今年の BF 代表はフィンランドからカタジャイセット・クラブのヴェイコ・ジュハニ・ジュボネン氏が息子さんと来日し、東西日本区のクラブ例会及び各区大会に出席する予定です。大阪(熊本) - 東京 - 十勝と回る予定。
  - (12) YMCA 関連 東日本区連絡主事 山添 訓：役員会資料 p36 により説明
  - (13) 東日本区事務所 鈴木健次：役員会資料 p39 により説明。
8. 夕食懇親会は 18:30 より「ゆりかご」にて行われた。

第 2 日目・7 月 13 日(日) 9:00~12:10

9. 聖日礼拝 奨励 東日本区連絡主事 山添 訓

#### 10. 議案提案書審議

審議に先立ち、清水理事より、「ロバート議事法を勉強しながら議事進行をしたいこと、定款により理事提案の時は直前理事等が議長を交代する」との発言があり、審議開始。

出席定足数確認：議決権者 15 人 + 理事の出席を確認；書記

議事録作成：書記 十河 弘

議事録署名人として 国際・交流事業主任 辻 剛 北海道部部长 中田千鶴 の 2 名を選任

第 1 号議案 第 11 回東日本区大会の余剰金の使途の件 提案者：直前理事 越智京子  
 提案趣旨 決算報告前ですが、第 11 回東日本区大会の余剰金の使途について予め承認をいただきたい。(第 2 回東日本区役員会に決算書を提出し、承認をいただきます)  
 提案内容 余剰金が出た場合は東京 YMCA の行っている青少年育成事業に献金する。  
 採決の結果 15 人全員の賛成で承認

第 2 号議案 第 12 回東日本区大会登録費の件 議案者：理事 清水弘一  
 提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議  
 提案趣旨 第 1 2 回東日本区大会ホストの十勝クラブより大会予算案が提出されました。この予算案に基づき、大会登録費の承認をお願いします。(別紙参照)  
 提案内容 登録費を 17,000 円とする。ただし、コース登録費は 10,000 円とする。  
 説明 第 12 回東日本区大会実行委員長 山田敏明より、参加数は 335 名+コース 15 人と推定、懇親会は 600 人参加でも可能、400 名~500 名でも受け入れ可能。  
 採決の結果 15 人全員の賛成で承認

第 3 号議案 第 1 回役員会 聖日礼拝献金先 議案者：理事 清水弘一  
 提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議  
 提案趣旨 第 1 回役員会の献金先を提案する  
 提案内容 第 1 回役員会 聖日礼拝の献金先は JEF 2000 プロジェクト指定献金とする。  
 質疑ナシ 採決の結果 15 人全員の賛成で承認

第 4 号議案 「ワイズ読本(ワイズ必携改訂版)」印刷費の件 議案者：理事 清水弘一  
 提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議  
 提案趣旨 10 月には発行される予定。東日本区で必要とする冊数、その印刷費について協議をお願いしたい。参考：第 9 回編集委員会記録添付、ワイズ読本内容添付  
 提案内容 1 頒布方法について(1)希望者に 1 冊 1000 円にて販売する(2)新入会員には入会キットに入れて配布する(物品代として原価を計上)  
 \*西日本区においては全員に配布(有料)希望者に販売の予定(当日変更)  
 2 印刷冊数について今後 5 年間で 1500 冊は必要。  
 3 印刷費について  
 (1)現在の積算では原価は 1 冊 700 円位(1500 冊の場合、1,050,000 円)  
 (2)印刷費を JEF より借入、売上金を JEF に返済する  
 質疑応答：1500 冊の根拠、答え：特に根拠はない、どのように使うのか、1000 円で全員に販売してはどうか、ロースターとセットでメンバーに買ってもらう、できるだけ説明して販売等の意見があった。  
 採決の結果 15 人全員の賛成で承認

議長：その他の動議等はありませんか

- ・2000 プロジェクト委員長より 2000 プロジェクトでマグネットタイルを販売は越智理事の時の常任役員会で承認済みを確認。
- ・浅見監事より：直前理事の後 1 年間空白の後監事。空白期間には情報が無いので空白を置かない方がよいと意見があった。この意見に対して、直前理事は次期役員指名委員長を務めるため、1 年置かないと、自分で自分を選ぶことになる。そのことを避けるために、東日本区としては現在のシステムを取っている、という説明が鈴木事務所所長からなされた。
- ・日程表訂正：p47 湘南・沖縄部部会 9/20 9/27、区報 1 号の富士山部部会は 9/7 9/14 に訂正、p47 および区報 1 号 7/31 後期区費請求書発送 前期区費請求書発送



11. 監事講評

(1) 藤井寛敏監事

議題も多くなかったし、場所は JRM 会議室で審議に集中できた。ワイズは基本的に全人類のためにより良き世界をとという中で、各理事によっては異なる方向がある。しかし、強調点が異なるのみで方向は同じである。今年のように3年計画があれば、それを受けて、色づけして行けば良いと思う。

(2) 浅見隆夫監事

今回の役員会の議案・報告書ではミスプリントが少なく、役柄毎のスケジュール表、よくできている。

ロバート議事法を取り入れた議事法制定については十分検討し、さらにその使い方も学ぶ必要がある。

ワイズ読本は700円、ロースターと合わせて2000円で買えればどうかと思う。クラブの中で意識高揚になってよい。部長と事業主任はよく読んで下さい。

事業主任は理事の指名、部長は地方の知事みたいなもので、理事とのコミュニケーションをする必要があります。

12. 今後の予定

第2回東日本区役員会は11月8日(土)~9日(日)、仙台YMCAと秋保温泉で開催予定。

13. 閉会式

YMCAの歌、理事閉会の挨拶と点鐘で会を閉じた。

礼拝献金合計 23,000円(議事終了後、清水理事より加藤JEF委員長に手渡した)

第1回東日本区役員会出席者

理事 清水弘一、次期理事 原 俊彦、直前理事 越智京子、書記 十河 弘、会計 菊地弘生  
監事 藤井寛敏、監事 浅見隆夫、地域奉仕事業主任 山田敏明

会員増強事業主任 久保田康正、国際・交流事業主任 辻 剛、ユース事業主任 篠田秀樹  
メネット委員長 松本倫子、北海道部部长 中田千鶴、北東部部部长 横倉 純  
関東東部部部长 佐野 守、東新部部部长 堀井 堯、あずさ部部部长 宮内友弥  
湘南・沖縄部部部长 里吉時夫、富士山部部部长 田邊寛司、理事事務局局長 竹内 聡  
理事事務局参与 村杉克己、東日本区事務所長 鈴木健次、東日本区事務所副所長 林茂博  
文献委員会委員長 上谷喜謙、LT委員長 駒田勝彦、組織検討委員長 小山正直  
ワイズ基金運営委員会委員長 加藤利榮、2000プロジェクト委員会委員長 漆畑義彦  
ヒストリアン 吉田明弘、トラベルコーディネーター 久保田貞視(7/13)  
連絡主事 山添 訓、次期書記:オブザーバー 長谷川あや子 出席者合計・32名

記録:東日本区書記 十河 弘

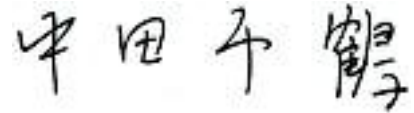
議事録署名人

2008年 月 日

国際・交流事業主任 辻 剛

署名  印またはサイン

北海道部部长 中田千鶴

署名  印またはサイン

2008～2009年度

## 第2回東日本区役員会議事録

日 時：2008年11月8日(土)13:00～17:00、9日(日)10:15～12:30

場 所：11月8日(土)：仙台YMCA 11月9日(日)秋保リゾートホテル・クレセント

出 席：23名(議決権者16名中14名、委員長等9名出席：氏名は末尾)以下原則として敬称略

第1日目・11月8日(土) 13:00～17:00

## 1. 開会式 司会：書記 十河 弘

開会点鐘、開会祈祷：越智直前理事、ワイズソング

理事挨拶：会員増強および2000プロジェクトが進行していることに感謝の挨拶があった。

出席者確認：議決権者16名中次期理事原 俊彦、ユース事業主任篠田秀彦が欠席で14名出席、  
委員長等9名出席、合計23名名が出席 氏名は別掲

オリエンテーション 鈴木所長から

## 2. 理事報告理事報告：日本のワイズメンズクラブが発足して80年、今日11/8に大阪クラブ80周年記念例会が開かれているが、東西日本区共に会員増強の問題を抱えている。東日本区は今日現在51名の新入会員がある。年末年始にかけて会員増強に拍車がかかっている。

## 3. 事業主任活動計画 以下役員会資料による他、強調点を記録として要約

(1) 地域奉仕事業主任 山田敏明：STEP 研修のため埼玉YMCAに20万円補助。省エネガイドブックを作成、消費電力の省エネ成果クラブ毎に集め、大会で表彰。

(2) 会員増強事業主任 久保田康正：10月～09年4月に知人・友人同伴キャンペーン。部長は10月31日現在の2000プロジェクト行動計画を11月中旬までに提出。09年1月24日に2000プロジェクトと共催のシンポジウム。

(3) 国際・交流事業主任 辻 剛：東新部、北海道、甲府でAIDSフォーラム。IBCアンケートを集計してIBCマニュアル作成予定。BFパーシャル・グラントは3人を申請。

(4) ユース交流事業 篠田主任に替わって理事が報告。鈴木所長より：プルリング交換車椅子は2台、1台はユースクラブ横浜が寄贈先を提案。1台はユースクラブ東京が寄贈先を提案。

## 4. 部長活動計画 以下役員会資料による他、強調点を記録として下記に要約

(1) 北海道部部长 中田千鶴：AIDSフォーラムは10/26開催。AIDSフォーラムは、今後少なくとも札幌クラブのCS事業で進めたい。

(2) 北東部部部长 横倉 純：第2回評議会で2000プロジェクト計画。

(3) 関東東部部部长 佐野 守：部会午前メネットアワーで環境を取り上げた。部会は約100名。関東東部各クラブの状況が報告された。掲載基盤 経済基盤に訂正

(4) 東新部部部长 堀井 堯：銀座に新クラブを計画11/6仮例会、来春にチャーター目標。5月にフレッシュワイズセミナーを計画。

(5) あずさ部部部长 宮内友弥：各クラブ20%会員増計画の現実厳しい。新クラブは長野に計画ということで長野に計画中、長野から小布施へ行くより長野へ参加の方がよい。

(6) 湘南・沖縄部部部长 里吉時夫：部会は久しぶりに都市型ホテルで実施。会員増強はスタートライン、金沢八景に10名入会予定の明るい材料もある。

(7) 富士山部部部长 田邊寛司：部長主題「個性を磨こう」を各クラブに提案、これが会員増強につながると思っている。会員増強は10月末で10名入会している。今年度300名にしたい。都市型のYMCAと異なり、スタッフなしのYMCA、ワイズ会員が地域に合った活動をしている。

## 5. 委員会および担当者活動計画 以下役員会資料による他、強調点を記録として下記に要約

(1) 国際・アジア関連 理事 清水弘一：韓国のみでエリアになることを韓国内で合意。エリアとして検討するためのアジア再編成タスクチームに西村隆夫(東京センテニアルクラブ)を推薦。

(2) 書 記 十河 弘：EMCと2000プロジェクトの重要データである後期半年報をよろしく。

(3) 会 計 菊地弘生：後期区費請求を1月に出す。

- ( 3 ) 文献委員長：上谷喜謙欠席で、役員会資料 p30 による
- ( 4 ) LT 委員長 駒田勝彦：10/25 に 2 回目の次期部長・事業主任研修を実施、アイスブレーキングでなごやかな雰囲気で行った。09/3/28-29 の次期部役員・会長研修会は東山荘で行う。
- ( 5 ) メネット委員長 松本倫子：11/29 午前 11:30 からの東日本区メネットの集いは、10 月中旬に各クラブメネット会長に案内する。
- ( 6 ) 組織検討委員長 小山正直：清水理事からの諮問により、区事務所運営規定、特別委員会の見直し、区報編集委員会、広義会員の義務、休会制度について審議中。
- ( 7 ) 東日本区ヒストリアン：吉田明弘欠席で、役員会資料 p33 による。
- ( 8 ) ワイズ基金運営委員会委員長：加藤利榮欠席で、役員会資料 p34 による。
- ( 9 ) 区 2000 プロジェクト委員長 漆畑義彦：今年度は活動の基礎作りをする。活動資金を申請いただければすぐに支出する。マグネットとストラップ、クラブの誕生日に利用要請。09/1/24 東日本区チャレンジ 2000 決起大会を東京 Y 東陽町センターで開催、遠方から参加に交通費補助。
- ( 10 ) IT アドバイザ 十河弘：ホームページはワード、PDF もサブページを検索可能なので要注意。
- ( 11 ) YMCA 報告 連絡主事 山添 訓：ユースファンドへの協力依頼。国際協力募金への協力で YMCA の理解と活動への参加を依頼。山田総主事が熱海 YMCA 訪問の折、NPO の限界から財団法人に向かう方がよいとの話もあった。
- ( 12 ) 第 12 回東日本区大会スケジュール 書記 十河 弘：事業主任報告は表彰式の中で行う。部長報告は部長 2 分 + 1 クラブ 15 秒、難しいが、全体の時間をキープしたい。クラブの報告は 1 クラブ 1 画面、1 画面に写真 3 枚まで。エクスクーションは案として提示 ( p41 )。
- ( 13 ) 2010 年横浜国際大会準備委員会 副委員長 清水弘一：プログラムを計画中。大会チラシとクリスマスカードが間もなく出る。役員会資料の国際大会ページ ( p43 ) は未確定を含む。
- ( 14 ) 東日本区事務所 鈴木健次：追加資料により説明。国際役員選挙について；国際会長に藤井寛敏、国際議員に高田一彦が立候補。

注記：第 1 回役員会の TC 報告を再度掲載；今年の BF 代表はフィンランドからカタジャイセット・クラブのヴェイコ・ジュハニ・ジュボネン氏が息子さんと来日、熊本 - 東京 - 十勝と回る予定。

6 . 夕食懇親会は 19 : 00 より秋保リゾートホテル・クレセントにて行われた。

第 2 日目・10 月 9 日(日) 9 : 00 ~ 12 : 30

7 . 聖日礼拝 説教 杉山昭男 牧師 ( 仙台 YMCA 理事、ルーテル教会引退牧師 )

8 . 議案提案書審議

審議に先立ち、LT 委員長駒田勝彦より議事法マニュアルの説明。

出席定足数確認：議決権者 13 人 + 理事の出席を確認；書記

議事録作成：書記 十河 弘 記録サポート：理事事務局長 竹内 聡

議事録署名人として 地域奉仕事業主任 山田敏明 北東部部長 横倉 純 の 2 名を選任

注記：下記の提案趣旨および提案内容は、概要を記載。正式内容は役員会資料による。

第 1 号議案 07-08 年度東日本区会計報告承認の件 提案者：直前理事 越智京子

提案内容 役員会資料 p45 ~ p49 による。訂正 P45 支出の部、次期繰越金 -475,278 -446,278

p47 東日本区会計・決算内訳、JEF 支出の部 東日本区 20 年の歩み 東日本区 10 年の歩み

質 疑 入会金は未収を含むあるがこの処理：未収は次年度に入れて処理。差の計算が収入は 07-08 実算 - 07-08 予算、支出は 07-08 予算 - 07-08 実算となっていることについて：過去の役員会で東日本区会計は提案の方式で行うことに決定していることを確認。監査報告の日付が 20 年とあるのは：2008 年に訂正する。

採決の結果 訂正を組み入れて、全員賛成で可決



第2号議案 第11回東日本区大会決算報告承認の件 提案者：直前理事 越智京子

提案内容 役員会資料 p51 による。第11回東日本区大会総務の鈴木健次より説明。

採決の結果 全員賛成で可決

第3号議案 08-09年度東日本区会計補正予算承認の件 提案者：理事 清水弘一

提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議

提案内容 理事 清水弘一および会計 菊地弘生より説明：東日本区会員数が前期 1150 名、後期 1300 名で当初予算を立案、その後前期は 1107 名確定、後期を 1214 名で補正した。

質疑 この計算では、後期は 1214 名の計算であるとの指摘。86 名減は 129 名減になるとの指摘：この指摘に対して訂正することになった。

採決の結果 訂正を組み入れて、全員賛成で可決

第4号議案 「マラリア半減への協賛に参加の申し込み」の事後承認の件 提案者：理事 清水弘一

提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議

提案内容 マラリア半減活動協賛するため、各クラブから協賛して下さいますようお願いいたします。下記の要領でクラブ単位で申し込み、送金下さいますようお願いいたします。

クラブの目標 自主判断で決めて下さい。(東日本区で600ネットを目標：1 ネット900円) 期日 2009年2月末まで東日本区郵便振替口座へ

追加説明：追加資料、マラリア半減パートナーシップについて、により書記 十河 弘から説明：国連、WHO は 2006/9/15DDT の使用再開勧告、1960 年代の DDT 反対の団体も使用を許可したこと、DDT で減少していたマラリアは DDT 禁止によって元に戻ったこと、しかし日本国内では殺虫剤練り込みの蚊帳への反対キャンペーンがあることを説明。清水理事：防虫剤が添付の蚊帳への反対があることが Y の主事から知らされ、反対運動があることをクラブへ知らせるべきだ。反対がある事への質問を国際協会に出している。この件で問い合わせがあったら、理事または所長へつないで下さい。

質疑 下記の意見あった。

自由参加で進めているが、殺虫剤使用の危険性に対する批判が起きた場合の東日本区として対応が必要(リスク・マネジメントとして)。この件は調査に時間をかけるのがよい。理事通信に流れて、既に振り込んだクラブもあるので、情報を流すべき。追加資料は他の文書から転用もあるので、東日本区の言葉に書き直して流す必要がある。

採決の結果 賛成 11 名 棄権 2 名 で可決

第5号議案 TOF 献金の一部を UGP 活動支援に充当させる件 提案者：国際・交流事業主任 辻 剛

提案趣旨 訂正：提案趣旨 4. の UDP UGP に訂正

提案内容 万一、UGP 献金に不足が見込まれ、その支援の実行に支障をきたす恐れがある場合は、国際に送金する TOF の一部をこれに充当することを承認いただきたい。

質疑ナシ

採決の結果 全員賛成で可決

第6号議案 08 - 09 年度東日本区における環境への取組み行動計画について

提案者：地域奉仕事業主任 山田敏明

提案内容 1 . 省エネガイドブック 1500 部 (約 8 万円) 省エネ実践チェック表 1500 部 (約 7 万円) を作成、東日本全員に配布。費用は CS 資金を充てる。2 . 08 年と 09 年 1 月、2 月、3 月の使用電力量をクラブで集計、各月の一人当たり電力量をクラブ 部地域奉仕事業主査 東日本区地域奉仕事業主任に報告する。削減率 (%) を計算。3 . 09 年 6

月の第 12 回東日本区大会で表彰。

意見 家族の人数が変化等、条件が変わった人は集計に参加しないようにとの注記が必要。オール電化等への変更も電力は増える。

質疑 家族が 3 人から 2 人になった場合、補正の計算をするのか：メンバー数で割るのみ。表彰は考えないほうがいいのではないか：軽く考えてやりたいが表彰があにと協力を得にくいのではないか。強制だと大変：強制ではなく自由参加でやりたい。

採決の結果 全員賛成で可決

第 7 号議案 日本 YMCA 同盟 STEP 研修プログラム支援の件 提案者：理事 清水弘一

提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議

提案内容 1. このプログラムは「東日本区 CS・Y サ・ASF 資金運用規定」に基づく事業として位置づけ、2. 日本 YMCA 同盟加盟の東日本区所管内の中小 YMCASTEP 研修参加者を対象、3. 日本 YMCA 同盟推薦の研修参加者を対象とする、4. 資金運用規定の手続きに則り決定。5. 原資は、「東日本区 CS・Y サ・ASF 資金」から支出することを確認する。

提案内容の注記 1 2 項の訂正：年数を決めていないので、下記の取消線部分を削除

2 参加対象は入職 3-7 年の中堅スタッフ

質疑 STEP 内容について質問：STEP は将来主事になるための研修、STEP は総主事になるための研修(清水理事および山添主事)。西日本区は事業としては行っていない。決まれば西日本区にも呼びかけたい(清水理事)。職員対象なので、スタッフレスの熱海 YMCA は外した方がよいのではないかと：スタッフレスでも対象になるので中小 YMCA の記載には含めた方がよい。ASF の昨年度実績は 83,000 円

意見 良いプログラムであるが、上限を決めた方がよい。ASF 献金のあり方を見直すべき。

動議 「上限を決めるべき」との動議が出され、セカンドがあり審議に入ったが、ここでは答が出ず、再度「継続審議」の動議が出され、セカンドがありこの動議を採決

採決の結果 全員賛成で「継続審議」と決定

第 8 号議案 第 2 回役員会 聖日礼拝献金先 提案者：理事 清水弘一

提案者が理事のため、議長を十河書記に交代して審議

提案内容 提案内容は常任役員会での方針がでていたのを記載ミスのため、下記に訂正：第 2 回役 JEF 2 0 0 0 プロジェクト指定献金とするを、UGP のための指定献金とする。

と訂正して提案

質疑ナシ

採決の結果 全員賛成で可決

注記：11 月 9 日(日)の礼拝献金は 24,500 円 でした。

その他 鈴木東日本区東日本区事務所所長より発言

役員会の議長は、理事が提案者であっても、理事が議長で行うことが過去の役員会で確認されている。その方が議事がスムーズに流れる。清水理事より：今回はロバート議事法によろうとしたので議長を交代したとの発言があった。

9. 監事講評：浅見隆夫監事の講評

(1) 資料配付時ミスプリントの訂正は、最初に明確に伝えること。

(2) ワイズの活動の基本は定刻なので、今日は終了が 30 分遅れている。朝の朝食終了から聖日礼拝開始の間の 1 時間を少なくして、議事・議案審議の開始を早めるようにするべきである。

- (3) 部長報告は、役員会資料が出ているので、参加者は既に読んでいる。報告は資料を読むのではなく補助説明にするのがよい。
- (4) YMCA について NPO と財団の違いの説明があったのは理解できた。
- (5) 今日の聖日礼拝の杉山牧師の話は感銘を受けた。これからもこのような人を招いてもらいたい。

10. 第3回東日本区役員会

2009年4月11日(土)～4月12日(日)

東京 YMCA 東陽町センター

11. 閉会式

YMCAの歌、理事閉会の挨拶と点鐘で会を閉じた。

第2回東日本区役員会出席者

理事	清水弘一、	直前理事	越智京子、	書記	十河 弘、	会計	菊地弘生
監事	浅見隆夫、	地域奉仕事業主任	山田敏明、	会員増強事業主任			久保田康正
国際・交流事業主任	辻 剛、	メネット委員長		松本倫子、	北海道部部长		中田千鶴
北東部部長	横倉 純、	関東東部部長		佐野 守、	東新部部長		堀井 堯
あずさ部部長	宮内友弥、	湘南・沖縄部部長		里吉時夫、	富士山部部長		田邊寛司
理事事務局長	竹内 聡、	理事事務局参与		村杉克己、	東日本区事務所長		鈴木健次
LT委員長	駒田勝彦、	組織検討委員長		小山正直			
2000プロジェクト委員会委員長	漆畑義彦			連絡主事	山添 訓		

出席者合計：23名

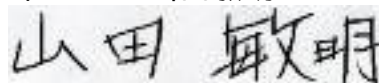
記録：東日本区書記 十河 弘

議事録署名人

2008年12月15日

地域奉仕事業主任 山田敏明

署名



印またはサイン

北東部部長

横倉 純

署名



印またはサイン

東日本区 2008～2009 年度後期の主な予定

月	主な予定
2月	東日本区区報第2号発行 第3回役員会案内発送 28日後期区費納入
3月	2008～2009 東日本区代議員会公告 15日 TOF,CS,BF 送金締切 27日(金) パシール国際会長来日 次期会長・部役員研修会に出席 28～29日次期会長・部役員研修会 於東山荘
4月	11日(土) - 12日(日) 第3回役員会(次年度と合同) 於東京 YMCA 東陽町センター 18日(土) 東西日本区理事連絡会
5月	第4回役員会案内発送 15日 ASF,EF,JEF 最終納入 2008～2009 代議員会議案書・招集状発送
6月	10日(水) フィンランドから BF 代表 Veikko Juhani Juvinen 着、東日本区大会に参加 12日(金) 第4回役員会 於とかちプラザ 13日(土) 2008～2009 東日本区代議員会 13日(土) 第12回東日本区十勝大会 於とかちプラザ 13日(土) 晩餐会 於ホテル日航ノースランド帯広



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 2008 - 2009 年度後期 現勢 2009/1/1

部名	クラブ名	2007 1・1	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	直近 増減	部名	クラブ名	2007 1・1	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	直近 増減
北海道部	札幌	8	8	9	8	12	4	あずさ部	*甲府	40	40	42	46	46	0
	北見	12	12	12	13	13	0		東京山手	24	23	22	20	21	1
	十勝	12	12	12	12	14	2		東京西	17	19	19	19	19	0
	札幌北	14	14	14	14	13	-1		東京武蔵野多	18	17	17	17	17	0
合計	4	46	46	47	47	52	5		*松本	14	15	16	14	14	0
北東部	仙台	19	21	21	23	24	1		東京サンライズ	21	20	20	20	20	0
	前橋	9	9	9	9	9	0		甲府21	24	26	24	22	22	0
	宇都宮	31	32	32	33	36	3		東京八王子	23	22	22	22	23	1
	*高崎	7	7	7	7	7	0		東京たんぼぼ	16	16	16	16	14	-2
	仙台青葉城	16	14	14	15	16	1		*富士五湖	15	16	15	15	15	0
	足利	8	8	8	8	8	0		東京セントラル	14	14	13	12	12	0
	*会津	7	6	6	6	6	0	合計	11	226	228	226	223	223	0
	宇都宮東	10	8	9	10	10	0	湘南沖縄部	横浜	18	19	19	17	16	-1
	那須	11	8	7	5	5	0		*沖縄那覇	10	8	8	6	9	3
	もりおか	-	21	21	19	18	-1		横浜ノース	14	13	13	11	11	0
合計	10	118	134	134	135	139	4		鎌倉	7	6	5	7	7	0
関東東部	東京江東	25	29	29	29	29	0		横浜とつか	12	11	11	10	9	-1
	千葉	16	17	16	16	15	-1		*沖縄しいーさぁー	7	7	7	7	7	0
	東京グリーン	25	23	23	26	26	0		厚木	11	11	11	15	17	2
	柏	14	13	13	13	13	0	金沢八景	18	16	15	20	28	8	
	埼玉	10	11	11	11	11	0	横浜つづき	20	18	19	19	19	0	
	東京北	14	14	14	14	14	0	合計	9	117	109	108	112	123	11
	所沢	14	13	12	12	12	0	富士山部	*熱海	43	44	44	44	45	1
	東京ひがし	17	20	20	20	19	-1		*沼津	20	20	21	20	19	-1
	*船橋	4	4	5	-	-	-		*湯河原	12	11	11	11	11	0
	川越	13	10	10	10	10	0		*伊東	35	36	36	39	40	1
茨城	18	18	16	14	14	0	*三島		25	21	22	22	24	2	
合計	10	170	172	169	165	163	-2		*下田	20	18	19	16	16	0
東新部	東京	37	35	35	37	38	1		*熱海グローリー	33	34	33	33	33	0
	東京むかで	19	18	18	17	18	1		御殿場	8	11	13	14	16	2
	東京世田谷	11	11	12	10	12	2		*富士	36	33	35	36	38	2
	東京目黒	8	8	8	8	8	0		*富士宮	21	21	21	22	24	2
	東京南	16	16	16	15	15	0	*静岡	20	13	17	18	19	1	
	東京まちだ	13	13	13	12	11	-1	合計	11	273	262	272	275	285	10
	東京コスモス	11	11	12	11	12	1	東日本区合計	2007 1・1	2007 7・1	2008 1・1	2008 7・1	2009 1・1	直近 増減	
	東京センテナリアル	26	30	31	32	35	3		総クラブ数	64	65	65	64	64	0
	信越妙高	17	18	19	8	7	-1		総会員数	1,108	1,111	1,120	1,107	1,141	34
	合計	9	158	160	164	150	156	6							

\*印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても複数クラブの担当のため、当該クラブの人数には含めていません。



- ・ 第12回東日本区十勝大会で会いましょう。今回の大会は13日に大会を全て終わります
- ・ 14日(日)一日または14日(日)～15日(月)のオプションツアーで会員の交流を持ちながら、合わせて北海道の素晴らしさを楽しんで下さい。

登録締切は4月30日(木)です。

2009/6/12(金)	
11:00 ~ 17:00	理事杯争奪戦ゴルフコンペ
11:00 ~ 17:00	メネットツアー
15:00 ~ 17:00	東日本区役員会 とがちプラザ
19:00 ~ 21:00	前夜祭 煉瓦亭前庭
2009/6/13(土)	
11:00 ~ 12:00	代議員会 とがちプラザ 2F
11:00 ~ 12:00	メネットアワー とがちプラザ 4F
11:00 ~ 12:00	ユースの集い とがちプラザ 3F
13:00 ~ 13:20	オープニング とがちプラザ 2F
13:20 ~ 13:50	開会式等
13:50 ~ 14:3	東日本区アワー
14:38 ~ 15:20	休憩 十勝の美味しいおやつ
15:20 ~ 16:20	基調講演 宮嶋望氏
16:20 ~ 16:30	休憩
16:30 ~ 18:30	東日本区アワー
18:30 ~ 18:45	閉会式
19:30 ~ 21:30	晩餐会 ノースランドホテル
21:45 ~ 23:15	フェローシップアワー
2009/6/14(日)	
7:00 ~ 7:30	聖日礼拝 ノースランドホテル
9:00 ~	オプション・ツアー

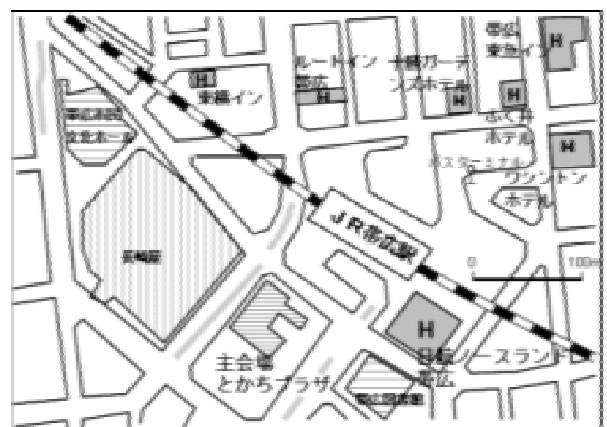


### ホテルの宿泊料案内

ホテル日航ノースランド帯広	シングル	11,550円
	ツイン	10,500円
北海道ホテル	シングル	11,550円
	ツイン	10,500円
十勝ガーデンズホテル	シングル	7,875円
	ツイン	7,350円
帯広ワシントンホテル	シングル	7,875円
	ツイン	7,350円

大会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~yspotato/jeconv12/>



大会会場と帯広駅の周辺地図